ComunicaTemplates

サイトの構築方法

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

サイトの構築方法

ここでは、Comunica Templatesのテンプレートを活用してできるサイトの作り方について簡単にご説明します。Comunica Templatesのテンプレートは、Movable Type用テンプレートです。ブログ操作における詳細は、Movable Typeのドキュメントをご参照ください。（http://www.movabletype.jp/documentation/）

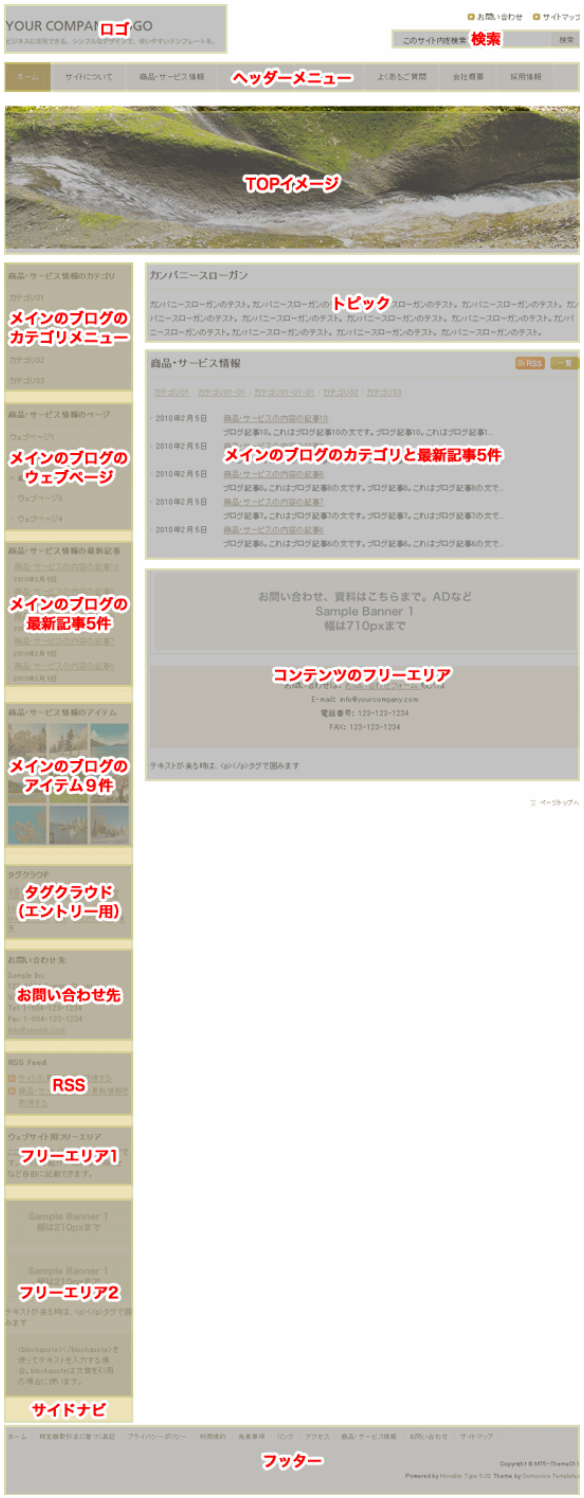
目次

（0） サイトの構成要素
（1） ウェブページの作成
　　（1-1）ウェブサイトでウェブページを作成
　　　　（1-1-1）サービスの内容ページを作成
　　　　（1-1-2）お問い合わせページを作成
　　　　（1-1-3）サイドナビにお問い合わせ先を作成
　　　　（1-1-4）トップページにトピック記事を作成
　　（1-2）ブログでウェブページを作成
　　（1-3）ウェブサイトとブログ：サイドナビのフリーエリアを利用
（2） カテゴリメニューの作成
　　■ MT5.0 系用テーマ・テンプレートをMT5.1 系、MT5.2 系に適用する場合
　　■ カテゴリの作成
　　■ サイドナビのカテゴリ名表示とフォルダ名の変更
（3） ブログ記事の作成
　　■ メインのブログに記事を作成
　　■ 概要について
　　■ タグ付け
　　■ アイテムについて
（4） コメントとトラックバック
（5） SEO対策（titleとmetaタグにおけるdescription とkeywords）
（6） ウィジェットについて
（7） ロゴの入れ替え
（8） トップイメージの入れ替え
（9） 文字サイズの変更
（10） 用意されているHTMLタグ用のクラス
（11） 用意されているCSSスタイル済みのHTMLタグ

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（0） サイトの構成要素

以下の図は、Comunica Templates のテンプレートで作成されるサイトのトップページで、主な構成要素について記載したものです。これからご説明する各セクションの名称のご参考にしてください。（テキストなどは、ズームで拡大してご確認ください。）



Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（1） ウェブページの作成

ウェブページは、ウェブサイトとブログにて作成することができます。

■ ウェブサイトでのウェブページ
Comunica Templates のウェブサイト用テーマでは、作成したウェブページのリンクは、ヘッダーメニューに最大 10 件（表示の関係もあり、10 件全てがヘッダーメニュー内に収まるわけではありません）、フッターメニューに最大 10 件表示できるようにしています。ウェブページをヘッダーメニューに表示するか、フッターメニューに表示するかは、各ページにおいて、タグを指定することで管理することができ、順序も指定できます。

■ ブログでのウェブページ
Comunica Templates のブログ用テーマでは、作成したウェブページのリンクは、ブログのサイドナビに表示されるようにしています。「メインのブログ」のウェブページは、ウェブサイトのサイドナビにも表示されるようにしています。

（1-1）ウェブサイトでウェブページを作成

まずは、ウェブサイトにて、ウェブページを作成していきます。
「テーマの設置方法（01_HowtoInstall.pdf）」にて作成した「First Website」を使用して解説していきます。

■ 1-1-1： サービスの内容ページを作成

Movable Type にログインし、ダッシュボードを表示します。「First Website」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

左のナビゲーションより、「ウェブページ」の右側にある矢印をクリックします。「ウェブページ」以下のサブメニューが表示されますので、この中から「新規」をクリックします。

「ウェブページの作成」というタイトルのページに移りますので、タイトルと本文の箇所にテキストを入力します。ここでは、タイトルとして「サービスの内容」、本文に「サービスの内容のサンプルテキスト。」と入力します。ここでは、「HTML モード」にて、 タグで文章を囲んでいます。（例： サービスの内容のサンプルテキスト。 ）

※正しい HTML 記述をするには、「HTML モード」ボタンをクリックし、HTML モードでタグ付けを行うか、「フォーマット」を「なし」にして HTML のタグ付けをします。これには基本的な HTML の知識が必要ですが、SEO を高める為、重要です。

ヘッダーメニューにリンクを表示するため、タグの箇所に「@page1」と入力します。
ヘッダーメニューに表示するために使用できるタグは、「@page1」、「@page2」、「@page3」、「@page4」、「@page5」、「@page6」、「@page7」、「@page8」、「@page9」、「@page10」です。このうち、「@page1」、「@page2」、「@page3」、「@page4」、「@page5」はヘッダーメニューにおいて、「ホーム」の右側から「メインのブログ」の左側までに表示されるようになっており、また、「@page6」、「@page7」、「@page8」、「@page9」、「@page10」は、「メインのブログ」の右側に表示されるようにしています。コンテンツの内容により、ナビの並び順を工夫したい時に便利です。

フッターメニューにリンクを表示させたい場合のタグは、「@page11」、「@page12」、「@page13」、「@page14」、「@page15」、「@page16」、「@page17」、「@page18」、「@page19」、「@page20」となります。

リンクの並び順は、タグの数字が小さいほど左に、大きいほど右になります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

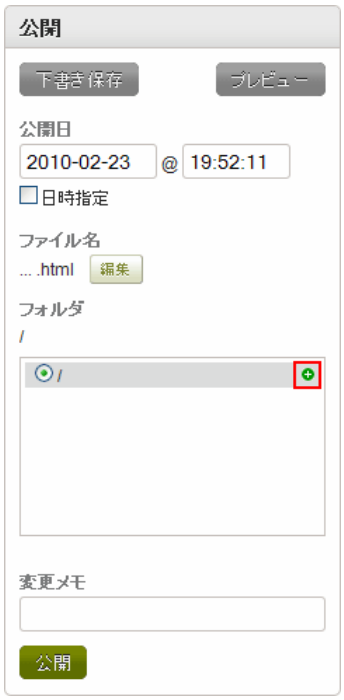
（注意：タグ付けを行わない場合、ヘッダーメニュー、フッターメニューには、ウェブページへのリンクは表示されません。）

右側「公開」メニューの中に「フォルダ」の欄がありますので、フォルダ管理をしたい場合は、「フォルダの変更」をクリックし、このページが属するフォルダを作成します。ただし、ウェブサイトで作成するウェブページは、「ヘッダーメニュー」、「フッターメニュー」にタグ管理で表示されるようにしているので、フォルダの中にファイルを作成しても、しなくても、メニューの表示デザインとして階層表示などが生じることはありません。ここでは、「services」というフォルダを作成し、ファイルを作成することにします。この際、ファイル名は「index.html」とします。

「フォルダ」の作成方法ですが、右側の「公開」メニューにあります「フォルダの変更」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「フォルダ」の下に、丸いボタンが表示されますので、それにマウスオーバーすると右側に、緑色プラスマークのボタンが表示されますので、これをクリックします。



テキストボックスが表示されますので、そこに、ここでは「services」と入力し、緑色のプラス（＋）マークをクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「フォルダ」の箇所に「services」が設定されたのがわかります。
次に、ファイル名を編集します。「ファイル名」のところの「編集」ボタンをクリックします。

テキストボックスが表示されますので、ここに「index」と入力し（「ファイル名」は、その「フォルダ」における初期値としてのページの場合、「index」と設定します。初期値で無い場合は、任意の名前を付けます。また、「ファイル名」に何も入力しない場合は、Movable Typeが自動で名前を設定します。）、「公開」ボタンをクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「ウェブページを保存しました。ウェブページを表示」というメッセージが表示されますので、「ウェブページを表示」をクリックします。

「サービスの内容」というタイトルのウェブページが表示されます。

※「サービスの内容」のウェブページが作成できましたら、サイト全体に「サービスの内容」ページへのリンクを反映させるために、「First Website」、「メインのブログ」において「サイトを再構築」します。（再構築ボタンをクリックします。）

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ フォルダの管理

ウェブサイトで作成したウェブページ用のフォルダは、ヘッダーメニュー、フッターメニュー上に表示されることはありませんが、サイトマップ上で表示されます。

今「サービスの内容」というタイトルのウェブページにいますので、そこから「サイトマップ」をクリックします。

「サイトマップ」のページが表示されます。「First Website」以下にある「services」が先ほど作成したフォルダで、ここにはフォルダ名がそのまま表示されていますが、これを「サービス」などに変更したい場合は、Movable Type の管理画面で変更することが出来ます。

先ほどウェブページを作成した Movable Type の管理画面に戻ります。左のナビゲーションの「ウェブページ」以下にあるサブメニューより「フォルダ」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「フォルダの管理」というページに移りますので、この中の「services」をクリックします。

「フォルダの編集」というページが表示されます。ここの「説明」の箇所に「サービス」と入力し、「変更を保存」ボタンをクリックします。

「フォルダを編集しました。 設定を有効にするために再構築してください。」というメッセージが表示されますので、「再構築」のリンクをクリックし、サイトを再構築します。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

再構築画面を閉じ、先ほどの「First Website」の「サイトマップ」の画面に戻り、画面をリフレッシュします。「services」となっていた箇所が、「サービス」と変更されているのがわかります。

このようにして、ウェブサイトのウェブページを利用し、「会社概要」、「よくある質問」、「プライバシーポリシー」、「利用規約」などのページを、タグを使い分け、ヘッダーメニューやフッターメニューにリンクを作成していくことができます。

■ 1-1-2： お問い合わせページを作成

ウェブサイトのウェブページを利用して、「お問い合わせ」ページを作成します。
先ほどの Movable Type 管理画面より、「ウェブページ」以下にあるサブメニューより「新規」をクリックします。

「ウェブページの作成」というタイトルのページに移りますので、タイトルに「お問い合わせ」、本文にお問い合わせの内容となるような連絡先（住所、電話番号、Fax 番号、Email アドレスなど）を記述します。（ここでは、「HTML モード」でテーブル<table>を組んで情報を羅列しています。基本的な HTML タグを習得しておくと便利です。）

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

そして、「タグ」の箇所に半角英数文字で「@contact」と入力し、ファイル名のところの「編集」ボタンをクリックし、ファイル名として「contact」と入力（必須です）、そして「公開」ボタンをクリックします。

※「お問い合わせ」ページを作成するポイントは、「タグ」の箇所に「@contact」と入力することと、「お問い合わせ」ページ用に「フォルダ」を用意しない点（つまり root 直下にファイルを置きます）、そして、ファイル名を「contact」にすることです。

「ウェブページを保存しました。 ウェブページを表示」とメッセージが出ますので、「ウェブページを表示」をクリックします。

「お問い合わせ」ページが表示され、本文に入力したコンテンツが表示されているのがわかります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ 1-1-3： サイドナビにお問い合わせ先を作成

次に、ウェブサイトのウェブページを利用して、サイドナビに「お問い合わせ先」を作成します。先ほどの Movable Type 管理画面より、「ウェブページ」以下にあるサブメニューより「新規」をクリックします。

「ウェブページの作成」というタイトルのページに移りますので、タイトルとして「お問い合わせ先」、「本文」にお問い合わせ先としてお知らせしたい情報（住所、電話番号、Fax 番号、Email アドレスなど）を タグで囲み、改行は
にて、入力します。
ここでは、「HTML モード」で情報を入力しています。
（例えば、 住所：○○○
電話番号：○○○
Fax：○○○ ）
（タイトルに入力したテキストは、サイドナビに「お問い合わせ先」セクションのタイトルとして表示されます。）

そして、「タグ」の箇所に半角英数文字で「@contact_side」と入力し、ファイル名のところの「編集」ボタンをクリックして「contact-side」と入力、そして「公開」ボタンをクリックします。（ファイル名は特に「contact-side」である必要はありません。ご自分でわかりやすい名前であれば OK です。）

※「お問い合わせ先」セクションをサイドナビに作成する上でポイントなのは、「タグ」の箇所に「@contact_side」と記述することと、「お問い合わせ先」セクションのページ用に「フォルダ」を用意しない点です。（つまり root 直下にファイルを置きます。）

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「ウェブページを保存しました。ウェブページを表示」というメッセージが表示されますが、ここでは、「ウェブページを表示」の箇所のリンクはクリックせず、「サイトの表示」アイコンをクリックします。

サイトが表示され、サイドナビに「お問い合わせ先」セクションができたことがわかります。

※サイドナビに表示される「お問い合わせ先」をサイト全体に反映する為に、「First Website」、「メインのブログ」を再構築します。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

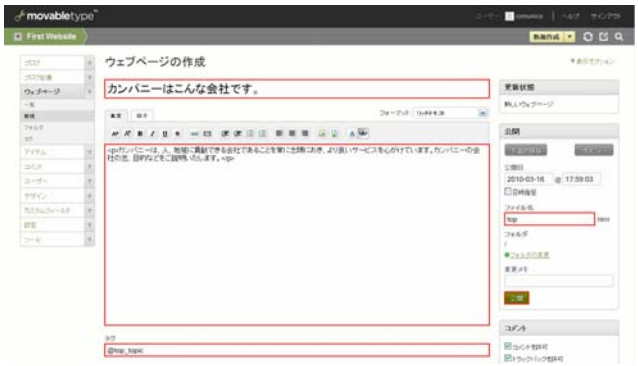
■ 1-1-4： トップページにトピック記事を作成

次は、ウェブサイトのウェブページを利用して、トップページに「トピック記事」を作成します。先ほどの Movable Type 管理画面より、「ウェブページ」以下にあるサブメニューより「新規」をクリックします。

「ウェブページの作成」というタイトルのページに移りますので、ウェブページのタイトルと「本文」にそれぞれテキストを入力します。（※画像などもご自由にお入れください。また、<h3>タグ、<h4>タグなどご利用いただけます。HTML の基本的な知識は必要ですが、難しくありませんので、是非習得されてください。）
ここでは、本文は「HTML モード」で文章を タグで囲んでいます。（例えば、このように→　本文の内容です。 ）

「タグ」の箇所には、半角英数文字で「@top_topic」と記述し、ファイル名のところに「top」と入力、そして「公開」ボタンをクリックします。（ファイル名は特に「top」である必要はありません。ご自分でわかりやすい名前であれば OK です。）

※トピック用の記事を作成する上でポイントなのは、「タグ」の箇所に「@top_topic」と記述することと、トピック用の記事に対して「フォルダ」を用意しない点です。（つまり root 直下にファイルを置きます。）



Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「ウェブページを保存しました。ウェブページを表示」というメッセージが表示されますが、ここでは、「ウェブページを表示」の箇所のリンクはクリックせず、「サイトの表示」アイコンをクリックします。

サイトが表示され、「トップイメージ」の下に「トピック記事」が表示されたことがわかります。ここでは、仮としてカンパニーの自己紹介的な文章を載せましたが、トピックとして短期間トップページで注目されたいイベントなどの情報を入れたりなど、さまざまな使用用途としてご利用いただけます。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（1-2）ブログでウェブページを作成

次は、ブログにて、ウェブページを作成していきます。ここでは、「メインのブログ」を使用して、ウェブページを作成します。

■ STEP 1 ： ウェブページ用にフォルダを作成しない場合

MT にて、「メインのブログ」の管理画面を表示し、左のナビゲーションの「ウェブページ」の右側にある矢印をクリックします。「ウェブページ」以下のサブメニューが出てきますので、この中より「新規」をクリックします。

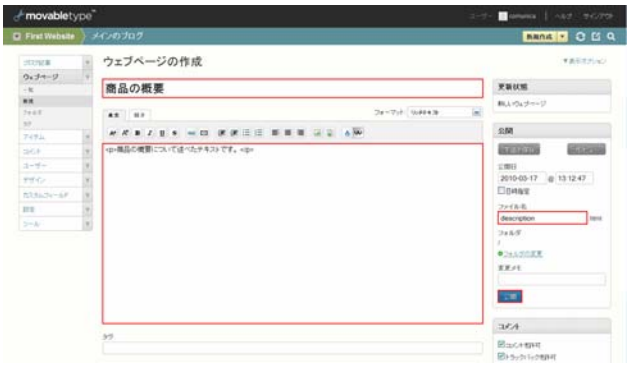
「ウェブページの作成」というタイトルのページに移りますので、タイトル、「本文」を入力します。ここでは、「HTML モード」にて本文を タグで囲んでいます。

ウェブページのファイル名を意味のある名前にしたい場合は、「ファイル名」の箇所の「編集」ボタンをクリックし、任意の名前を入力します（任意の名前にしない場合は、Movable Type が自動で設定します）。

ここでは、ファイル名は、ウェブページをフォルダに入れずに作成するため、つまり、「メインのブログ」直下にウェブページを作成しますので、「index」以外の名前を入力します。
（「メインのブログ」の直下にある「index」のファイル名は既に Movable Type のテンプレートにより使用済の為「index」は使えません。）

逆に、新しくフォルダを作成し、「フォルダ」における初期値としてのページの場合は、ファイル名を「index」と設定します。ここでは、ファイル名として「description」と入力し、「公開」ボタンをクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.



「ウェブページを保存しました。ウェブページを表示」とメッセージが出ますので、「ウェブページを表示」のリンクをクリックします。

「商品の概要」ページが「メインのブログ」以下に作成されたことがわかります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

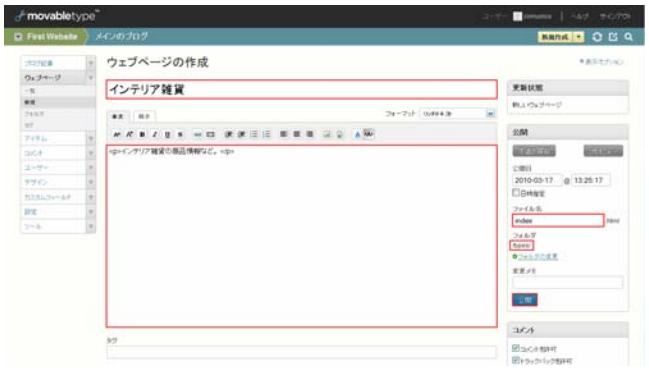
■ STEP２ ： ウェブページ用にフォルダを作成する場合

前回の Movable Type 管理画面より、左のナビゲーションの「ウェブページ」以下にあるサブメニューの中の「新規」をクリックします。

「ウェブページの作成」というタイトルのページに移りますので、タイトル、「本文」を入力します。

今回は、ウェブページ用にフォルダを作成しますので、右側「公開」メニューにある「フォルダの変更」をクリックし、フォルダを作成します。ここでは、商品の種類に関するフォルダとしたいので、フォルダ名として「types」と入力します。
（フォルダの作成方法は、前回「1-1-1 ： サービスの内容ページを作成」にて既に説明済ですので、ここでは省略します）

そして、今作成しようとしているウェブページは、このフォルダにおける初期値としてのページにしたいので、ファイル名を「index」とします。「公開」ボタンをクリックします。



「ウェブページを保存しました。ウェブページを表示」とメッセージが出ますので、「ウェブページを表示」のリンクをクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「メインのブログ」の「types」フォルダ以下に「インテリア雑貨」のウェブページが作成されたことがわかります。

■ フォルダの管理

ブログで作成したウェブページ用のフォルダは、上記「types」フォルダのようにサイドナビに表示されます。これを任意の名前に変更したい場合は、以下の手順で変更します。

先ほどウェブページを作成した Movable Type の管理画面に戻ります。左のナビゲーションの「ウェブページ」以下にあるサブメニューより「フォルダ」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「フォルダの管理」というページに移りますので、この中の「types」をクリックします。

「フォルダの編集」というページが表示されます。ここの「説明」の箇所に「商品の種類」と入力し、「変更を保存」ボタンをクリックします。

「フォルダを編集しました。 設定を有効にするために再構築してください。」というメッセージが表示されますので、「再構築」のリンクをクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「メインのブログの再構築」というポップアップウィンドウが表示されますので、「すべてのファイル」を選択し、「再構築」ボタンをクリックします。

「メインのブログを再構築しました。」とメッセージがでますので、「閉じる」ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

先ほどの「メインのブログ」の「インテリア雑貨」ページの画面に戻り、画面をリフレッシュします。「types」となっていた箇所が、「商品の種類」と変更されているのがわかります。

※「メインのブログ」におけるウェブページをサイト全体に反映する為に、「First Website」を再構築します。(「First Website」には「メインのブログ」のウェブページがサイドナビに表示されるようになっています。)

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（1-3）ウェブサイトとブログ：サイドナビのフリーエリアを利用

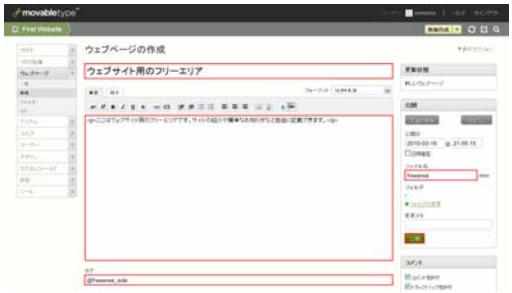
Comunica Templates では、ウェブサイトとブログのウェブページを利用して、サイドナビのフリーエリアに記事を設けることができます。このフリーエリアに記事を作成する方法は、ウェブサイト、ブログ共に同じですので、ここでは、ウェブサイトのフリーエリアに記事を作成していきたいと思います。

「First Website」の管理画面を表示します。左のサイドナビゲーションの「ウェブページ」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「新規」をクリックします。

「ウェブページの作成」というタイトルのページに移りますので、タイトルに「ウェブサイト用のフリーエリア」、本文に「 ここはウェブサイト用のフリーエリアです。サイトの紹介や簡単なお知らせなど自由に記載できます。 」と入力します。ここでは、「HTML モード」で本文を タグで囲んで記載しています。

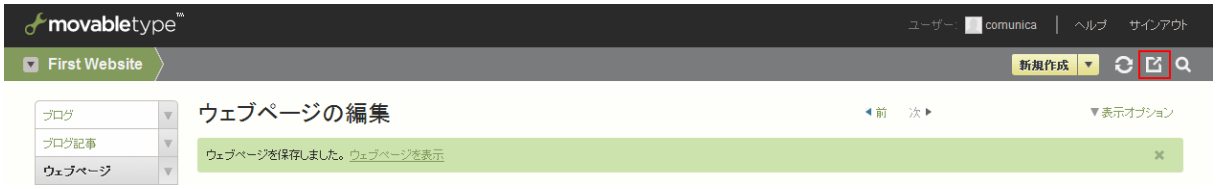
「タグ」の箇所には、半角英数文字で「@freearea_side」と記述し、ファイル名のところに「freearea」と入力、そして「公開」ボタンをクリックします。
（ファイル名は特に「freearea」である必要はありません。ご自分でわかりやすい名前であれば OK です。）

※フリーエリア用の記事を作成する上でポイントなのは、「タグ」の箇所に「@freearea_side」と記述することと、フリーエリア用の記事に対して「フォルダ」を用意しない点です。（つまり root 直下にファイルを置きます。）



Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「ウェブページを保存しました。ウェブページを表示」というメッセージが表示されますが、ここでは、「ウェブページを表示」の箇所のリンクはクリックせず、「サイトの表示」アイコンをクリックします。



サイトが表示され、サイドナビゲーションに今作成した「ウェブサイト用のフリーエリア」の記事が表示されたことがわかります。

このようにして、「First Website」、「メインのブログ」用に、フリーエリアをそれぞれ作成することができます（作成方法、入力するタグ名など、それぞれのサイトやブログで同じです。）サイトやブログに関連する個別の情報を、それぞれ発信いただけます。

※「ウェブサイト用のフリーエリア」を「First Website」のその他のページに反映する為に、「First Website」を再構築します。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（2） カテゴリメニューの作成

■ MT5.0 系用テーマ・テンプレートを MT5.1 系、MT5.2 系に適用する場合

このテンプレートは、MT5.0 系用のテーマ・テンプレートですが、MT5.1 系、MT5.2 系にも適用することが可能です。MT5.1 系、MT5.2 系に適用する場合、MT5.1 で新規導入されたドラッグ＆ドロップによるカテゴリの並び替えを管理画面にて行うことができます。
詳しくは、Movable Type 5 ドキュメントの「カテゴリの作成と管理」をご参照ください。
http://www.movabletype.jp/documentation/mt5/blogs/category.html

※MT5.0 系の Movable Type には、ドラッグ＆ドロップによるカテゴリの並び替え機能は付いておりませんので、以下の方法をご利用ください。

■ カテゴリの作成

ブログのカテゴリとなるメニューを作成します。Comunica Templates のテーマでは、第 3 階層までカテゴリを作成することができます。ここでは、仮に作成するカテゴリとして、以下のような例で作成していきます。

※カテゴリを作成した場合で、そのカテゴリに対して記事が何も作成されない場合でも、サイドナビにカテゴリメニューが表示されるようにしています。この際、サイドナビのメニューリンクをクリックした先のページは、ブランク（空）となります。

・美術 （出力フォルダ名を art とする）- 第 1 階層
　・ 絵画 （出力フォルダ名を paint とする）- 第 2 階層
　　・日本画（出力フォルダを japan とする）- 第 3 階層
・文芸 （出力フォルダ名を literature とする）- 第 1 階層
　・ 詩 （出力フォルダ名を poem とする）- 第 2 階層

ここでは、「メインのブログ」を使用して説明を進めていきます。

「メインのブログ」の管理画面を表示します。左のナビゲーションの「ブログ記事」の右側にある矢印をクリックすると「ブログ記事」以下のサブメニューが表示されますので、この中から「カテゴリ」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「カテゴリの管理」というタイトルのページに移りますので、この中の「トップレベルカテゴリを作成」をクリックします。

カテゴリを作成するテキストボックスが表示されますので、ここに作成したいカテゴリ名を入力します。

ここでは、例に挙げたトップレベルのカテゴリである「美術」を入力します。この時、「美術」の前に「01-」（半角英数文字で入力）を付け加え「01-美術」と入力します。これは、数字でカテゴリの順序を調整する為です。入力し終わったら、右側にある「新規作成」ボタンをクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

次に、同じトップレベルのカテゴリである「文芸」用のカテゴリを作成します。「トップレベルカテゴリを作成」をクリックします。

カテゴリを作成するテキストボックスが表示されますので、ここに「02-文芸」と入力します。入力し終わったら、右側にある「新規作成」ボタンをクリックします。

では、次に、「美術」のサブカテゴリである「絵画」のカテゴリを作成します。
これは、「美術」用のサブカテゴリであるので、「01-美術」の欄にある「新規作成」をクリックします。（もしも、「02-文芸」のカテゴリにサブカテゴリを作成する場合は、「02-文芸」の欄にある「新規作成」をクリックします。）

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

テキストボックスが表示されますので、ここに「01-絵画」と入力し、右側にある「新規作成」ボタンをクリックします。

次に、「絵画」のサブカテゴリである「日本画」のカテゴリを作成します。
「01-絵画」の欄にある「新規作成」をクリックします。

テキストボックスが表示されますので、ここに「01-日本画」と入力し、右側にある「新規作成」ボタンをクリックします。

同様の手順で「詩」のカテゴリも「02-文芸」以下に作成します。

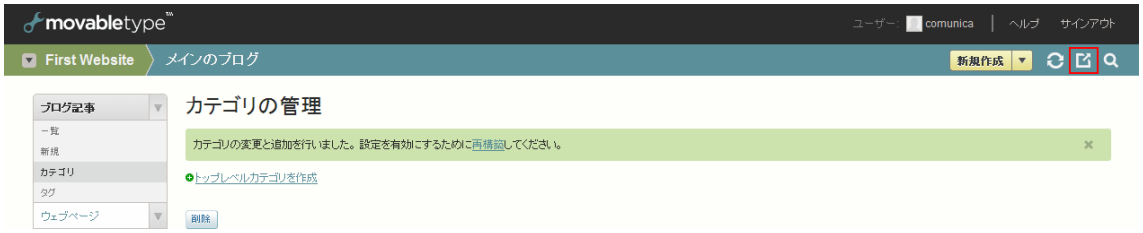
Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「カテゴリの変更と追加を行いました。 設定を有効にするために再構築してください。」とメッセージが出ていますので、「再構築」のリンクをクリックします。

「メインのブログの再構築」というポップアップウィンドウが表示されますので、「すべてのファイル」を選択し、「再構築」ボタンをクリックします。

「メインのブログを再構築しました。」とメッセージがでますので、「閉じる」ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

「カテゴリの管理」のページに戻り、「サイトの表示」ボタンをクリックします。



「メインのブログ」のインデックスページが表示され、今ほど作成したカテゴリが、サイドナビに作成されているのがわかります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

また、カテゴリに、第２、第３階層などがある場合、「関連項目」としてコンテンツ下に自動でリンクが作成されます。（例えば、ここでは、サイドナビの「01-美術」をクリックした先のページに「01-美術の関連項目」が表示されます。）

■ サイドナビのカテゴリ名表示とフォルダ名の変更

ここでは、カテゴリ名の前に付いている「01-」などの数字を表示しないように修正します。また、カテゴリにマウスオーバーするとわかるように、フォルダ名が「01-」などになっていますので、これを予め決めておいたフォルダ名「art」などに変更します。

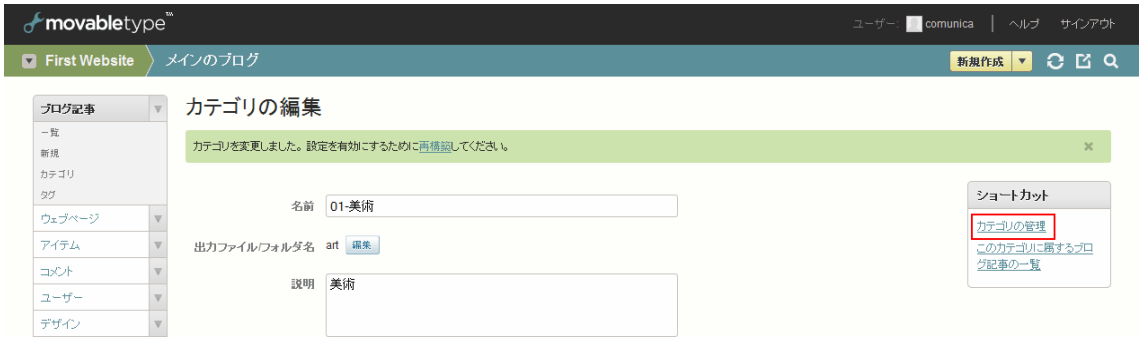
前回の Movable Type の画面より、「カテゴリ」の箇所から「01-美術」をクリックします。

「カテゴリの編集」ページに移りますので、この中の「出力ファイル/フォルダ名」のところにある「編集」ボタンをクリックします。

テキストボックスが表示されますので、ここに「art」と入力します。そして、その下にある「説明」の箇所に、「美術」と入力し、ページ下にある「変更を保存」ボタンをクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

次に、「絵画」のカテゴリの分を編集しますので、右側の「ショートカット」より「カテゴリの管理」をクリックします。



「カテゴリの管理」ページに移りますので、この中から「01-絵画」をクリックします。

「カテゴリの編集」ページに移りますので、この中の「出力ファイル/フォルダ名」のところにある「編集」ボタンをクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

テキストボックスが表示されますので、ここに「paint」と入力します。そして、その下にある「説明」の箇所に、「絵画」と入力し、ページ下にある「変更を保存」ボタンをクリックします。

このようにして、その他のカテゴリ「日本画」「文芸」「詩」についても同様に編集していきます。（ここでの Step by Step の解説は省略します。）

最後、「詩」のカテゴリを編集した後、「カテゴリを変更しました。 設定を有効にするために再構築してください。」とメッセージが出てきますので、「再構築」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「メインのブログの再構築」というポップアップウィンドウが表示されますので、「すべてのファイル」を選択し、「再構築」ボタンをクリックします。

「メインのブログを再構築しました。」とメッセージがでますので、「閉じる」ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

「カテゴリの編集」画面に戻り、「サイトの表示」ボタンをクリックします。

「メインのブログ」のインデックスページが表示され、サイドナビのカテゴリ部分の表示が変更され、フォルダ名が「art」などに変更されたことがわかります。

※「メインのブログ」におけるカテゴリの変更をサイト全体に反映する為に、「First Website」を再構築します。(「First Website」には「メインのブログ」のカテゴリがサイドナビに表示されるようにしています。)

次は、これまでに作成したカテゴリに対して、記事を作成していきます。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（3） ブログ記事の作成

ここでは、「メインのブログ」に記事を作成していきます。
後半では、記事に対するタグ付けや画像などのアイテムについてご説明いたします。
それでは、「メインのブログ」に記事を作成します。

■ メインのブログに記事を作成

「メインのブログ」の管理画面を表示します。
左のナビゲーションの「ブログ記事」の右側にある矢印をクリックすると、「ブログ記事」以下のサブメニューが表示されますので、この中から「新規」をクリックします。

「ブログ記事の作成」というタイトルのページに移ります。ここでは、「美術」のカテゴリに記事を作成します。

記事のタイトルと「本文」の箇所にテキストを入力し、右側「カテゴリ」メニューの欄に、先ほど作成した「01-美術」がありますので、これにチェックを入れ、「公開」ボタンをクリックします。

※正しい HTML 記述をするには、「HTML モード」ボタンをクリックし、HTML モードでタグ付けを行うか、「フォーマット」を「なし」にして HTML のタグ付けをします。これには基本的な HTML の知識が必要ですが、SEO を高める為、重要です。
ここでは、本文に入力したパラグラフは HTML の<p>タグで囲んでいます。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「ブログ記事を保存しました。ブログ記事を見る」というコメントが表示されますので、「ブログ記事を見る」をクリックします。

「美術」のカテゴリに作成された記事が表示されます。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

その他のページも、「美術」のカテゴリ用に作成したページと同じ要領で作成します。
（ここでは、説明のステップは省略します）

作成した後は、サイト全体にリンクを反映させるために再構築を行います。
（「サイトを再構築」ボタンをクリックします。）

「メインのブログ」に記事が作成されると、ブログ記事のコンテンツ下、サイドナビの「最新記事」の箇所、「メインのブログ」のインデックスページ、そして、ウェブサイトのトップページに、最新記事として表示されます。

ブログ記事のコンテンツ下における「最新記事」は 10 件、サイドナビにおける「最新記事」は 5 件、「メインのブログ」のインデックスページにおける「最新記事」は既定値の 10 件、ウェブサイトのトップページにおける「最新記事」は 5 件表示※となります。

※Movable Type 5 用テンプレートVersion3 シリーズ（Theme014 やTheme016 など）では、ウェブサイトのトップページと「メインのブログ」のインデックスページにおける「最新記事」の表示方法に、「Styleニュース」と「Styleブログ」の二通りの表示方法が用意されています。デフォルトでは、「Styleニュース」が表示設定されています。「Styleニュース」から「Styleブログ」に表示を変更する場合の詳細については、「（6） ウィジェットについて」の「■ ウィジェットの変更方法：ウィジェットセット「トップのコンテンツ」の場合」をご参照ください。

この内、「メインのブログ」のインデックスページにおける最新記事数である既定値の 10 件は、Movable Type の管理画面で件数を変更することができます。ここでは、その方法をご説明します。

先ほどの Movable Type の画面より、左のナビゲーションの「設定」の右側にある矢印をクリックすると「設定」以下のサブメニューが表示されますので、その中から「投稿」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「投稿設定」というタイトルのページに移ります。「公開の既定値」というセクションがあり、そこの「表示される記事数」という箇所が設定の変更場所となります。今は、既定値の「10投稿」分が表示されるようになっていますが、これを５件に変更する場合、「10」を「5」に変更します。そして、ページ下にある「変更を保存」ボタンをクリックします。

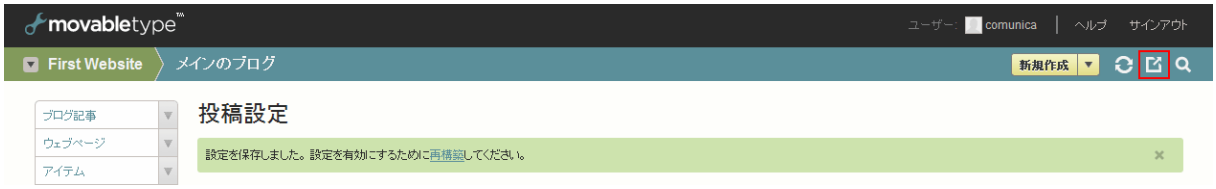
「設定を保存しました。 設定を有効にするために再構築してください。」とメッセージが表示されますので、「再構築」をクリックします。

「メインのブログの再構築」というポップアップウィンドウが表示されますので、「すべてのファイル」を選択し、「再構築」ボタンをクリックします。

「メインのブログを再構築しました。」とメッセージがでますので、「閉じる」ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「投稿設定」の画面に戻り、「サイトの表示」をクリックします。



「メインのブログ」のインデックスページが表示されます。最新記事の箇所に、今のところ記事が 1 件しかないので、わかりづらいですが、この変更により、最新記事として表示される記事は 5 件に修正されました。（記事を 5 件以上投稿し、ご確認ください。）

※「メインのブログ」における記事の投稿を最新記事としてサイト全体に反映する為に、「First Website」を再構築します。
（「First Website」には「メインのブログ」の最新記事がサイドナビに表示されるようにしています。）

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ 概要について

「First Website」のトップページ、「メインのブログ」のトップページには、「メインのブログ」の最新記事が来るセクションがあります。そして、これらの記事の内容として、記事の「概要」が来るようになっています※。「概要」に記述が無い場合は、本文の内容がきます。

※Movable Type 5 用テンプレートVersion3 シリーズ（Theme014 やTheme016 など）では、ウェブサイトのトップページと「メインのブログ」のインデックスページにおける「最新記事」の表示方法に、「Styleニュース」と「Styleブログ」の二通りの表示方法が用意されています。デフォルトでは、「Styleニュース」が表示設定されています。「Styleニュース」から「Styleブログ」に表示を変更する場合の詳細については、「（６） ウィジェットについて」の「■ ウィジェットの変更方法：ウィジェットセット「トップのコンテンツ」の場合」をご参照ください。

「First Website」のトップページにおける最新記事	「メインのブログ」のトップページにおける最新記事

「メインのブログ」で「ブログ記事」を作成する際に、「概要」を入力した場合は、上記ページ上の記事のタイトルの下に「概要」に記述した内容が表示されるようになります。
もし、「概要」に何も入力がなされていない場合は、「ブログ記事」の本文から、「投稿設定」で指定した「概要の文字数」（既定値は 40 文字）分が表示されるようになります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

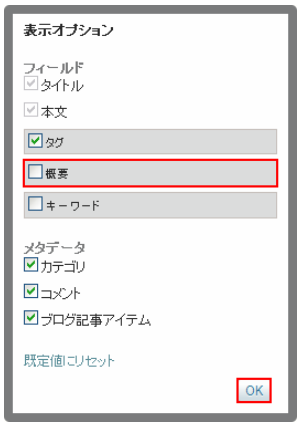
それではこれより「概要」に内容を入力していきます。
「メインのブログ」の管理画面を表示します。
左のナビゲーションの「ブログ記事」の右側にある矢印をクリックすると、「ブログ記事」以下のサブメニューが表示されますので、この中から「一覧」をクリックします。

「ブログ記事の管理」というタイトルのページに移りますので、前回作成した記事のリンクをクリックします。

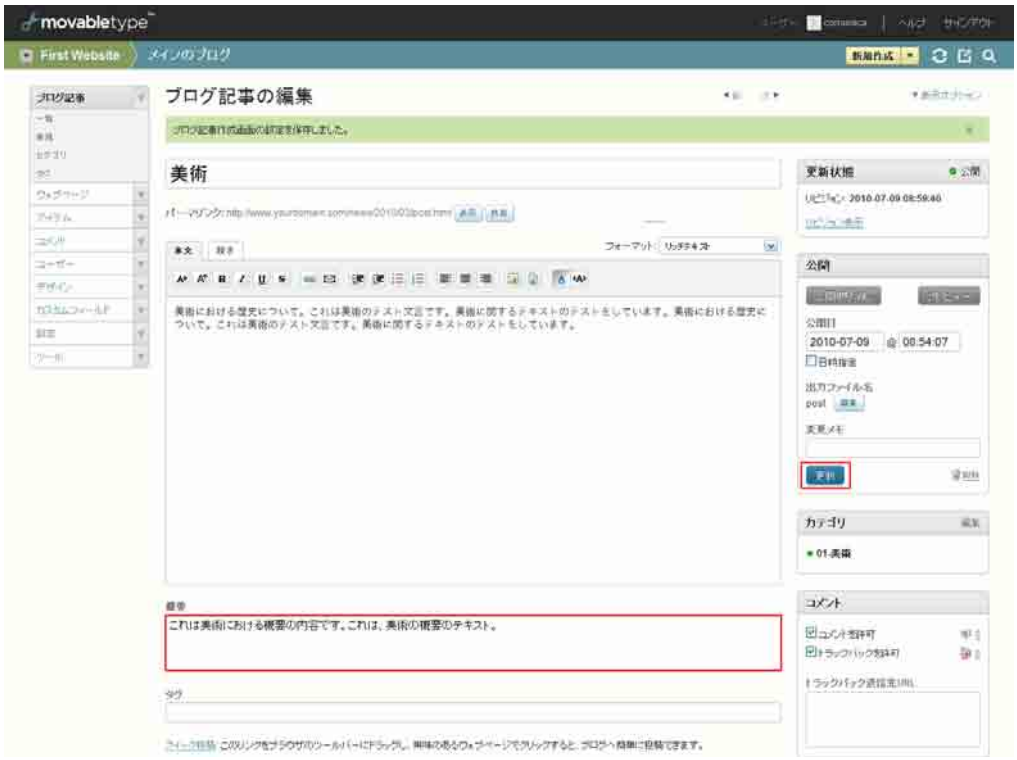
「ブログ記事の編集」ページに移りますが、「概要」を記載する欄がデフォルトでは表示されていませんので、右上にある「表示オプション」をクリックして「概要」欄を表示します。
「表示オプション」をクリックします。

「表示オプション」ウィンドウが出ますので、この中の「概要」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。

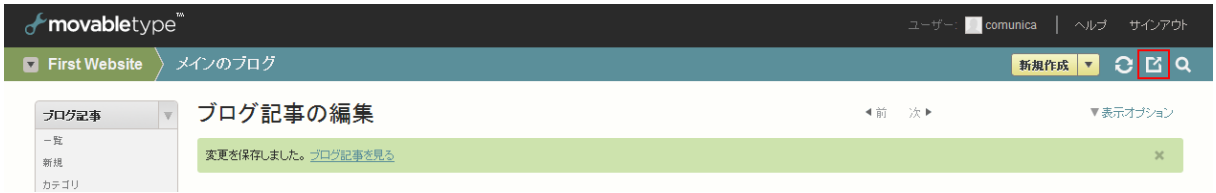
Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.



「概要」の欄が作成されましたので、ここに、文言を入力します。そして、「更新」ボタンをクリックします。



「変更を保存しました。 ブログ記事を見る」というメッセージが出ますが、ここではそちらはクリックせず、「サイトの表示」をクリックします。



Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「メインのブログ」のインデックスページが表示され、記事タイトルの下に「概要」の内容が表示されているのがわかります。

また、このページ上の「ホーム」へのリンクをクリックします。
「ホーム」の「メインのブログ」セクションにも、記事タイトルの下に「概要」の内容が表示されているのがわかります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ タグ付け

Movable Type では、「ブログ記事」、「ウェブページ」、「アイテム」に対して「タグ」を付与することができますが、Comunica Templates のテンプレートでは、「ブログ記事」に付けられた「タグ」のみが、サイドナビの「タグクラウド」として表示されるようになっています。「ウェブページ」や「アイテム」に付けられた「タグ」は、「タグクラウド」には表示されませんので、ご了承くださいませ。

また、「タグクラウド」の箇所に表示される「タグ」は、利用頻度の高いものから上位 20 位までが表示されるようになっています。

それでは実際に、「ブログ記事」に対してタグ付けを行っていきます。
ここでは、既に作成している「ブログ記事」に対して「タグ」付けを行っていきます。

「メインのブログ」の管理画面を表示します。左のナビゲーションの「ブログ記事」の右側にある矢印をクリックします。「ブログ記事」以下のサブメニューが表示されますので、この中の「一覧」をクリックします。

「ブログ記事の管理」というタイトルのページが表示されますので、前回作成した「美術」の記事をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「ブログ記事の編集」というタイトルのページが表示されます。
仮にこの記事には、18 世紀、19 世紀、20 世紀に関連する美術の記事が書かれているものとします。ページ下部に「タグ」を入力するテキストボックスがあるので、ここに、「18 世紀,19 世紀,20 世紀」と入力します。各フレーズは、半角英数文字のコンマ「,」で区切りながら入力します。入力が終わったら、「更新」ボタンをクリックします。

「変更を保存しました。ブログ記事を見る」というメッセージが表示されますので、「ブログ記事を見る」の箇所のリンクをクリックします。

「美術」の記事が表示されます。コンテンツの下に「この記事の関連タグ」が、そして、サイドナビの箇所に「タグクラウド」が表示されているのがわかります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

※サイドナビに表示される「タグクラウド」をサイト全体に反映する為に、「First Website」「メインのブログ」を再構築します。

■ アイテムについて

Comunica Templates のテンプレートでは、サイドナビに画像の「アイテム」が表示されるようにしています。その画像は、画像が投稿されたブログ記事にリンクしています。

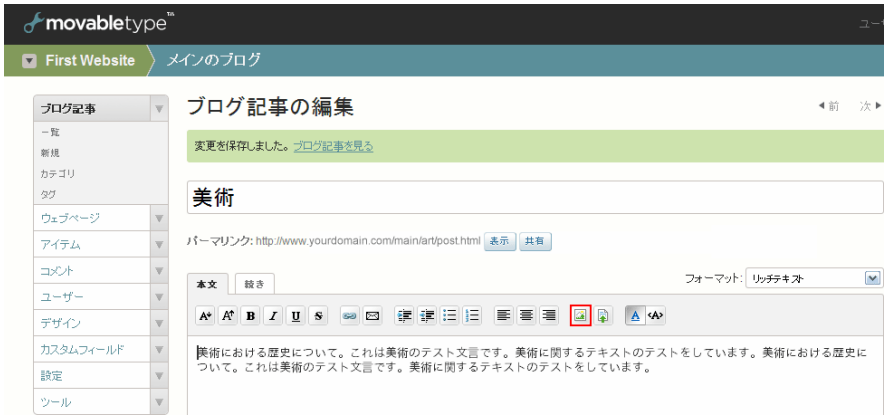
また、サイドナビに画像を表示させるためには、画像にタグを付与する必要があります。
また、1 記事につき、1 つの画像がアイテムとして表示されます。時間的に最新で投稿された方が表示されるようになっています。

また、サイドナビに表示される画像アイテムは、最新記事 9 件の中に含まれる画像が表示されるようになっています。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

それでは、ここではブログ記事に対して画像を投稿、その画像にタグを付与し、サイドナビに画像のアイテムとして表示されるようにしたいと思います。

先ほどの画面より、今現在調度「ブログ記事の編集」画面にいますので、この「美術」の記事に画像を投稿していきます。「本文」の画像を入れたい場所にカーソルを合わせ、「画像の挿入」ボタンをクリックします。



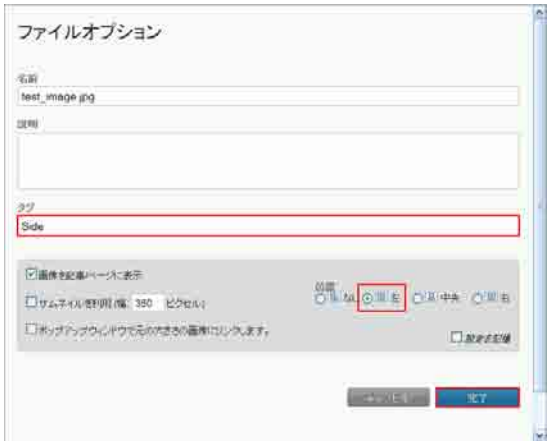
「画像の挿入」画面が表示されますので、「新しい画像をアップロード」をクリックします。

「アップロードするファイルを選択」のところにある「Browse」ボタンをクリックし、自分のローカルフォルダから画像を選択します。そして「アップロード先」のところにあるくサイトパス＞以下に「images」と入力し、「アップロード」ボタンをクリックします。

※ここでは「フォルダの選択」を利用したフォルダの作成は行いません。理由は、サイドナビに表示されるウェブページのメニュー箇所とサイトマップのページに、画像用として作成したフォルダも表示されてしまうからです。(画像用フォルダはナビゲーション部分やサイトマップには表示したくないため。)

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「ファイルオプション」の画面に移りますので、「タグ」のところに「Side」と半角英数文字で入力します。その他オプションはご自由に設定してください。ここでは、画像を左寄せにしたいので、「位置」として「左」を選択し、「完了」ボタンをクリックします。



「ブログ記事の編集」画面に戻りますので、「更新」ボタンをクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「変更を保存しました。 ブログ記事を見る」とメッセージが出ますので、「ブログ記事を見る」をクリックします。

「美術」の記事が表示され、コンテンツの箇所に画像が、そして、サイドナビのアイテムの箇所に画像が表示されたことがわかります。

※サイドナビに表示される「メインのブログのアイテム」をサイト全体に反映する為に、「First Website」「メインのブログ」を再構築します。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（4） コメントとトラックバック

Comunica Templates のテーマでは、コメントとトラックバックに Movable Type のデフォルト動作とは若干異なる動作を与えています。

デフォルト動作では、例えば、ある記事に対してコメントが付いた場合、「ブログ記事の編集」画面で右側の「コメント」メニューにある「コメントを許可」からチェックを外すと、既に投稿されたコメントはブログ記事上でそのまま表示されますが、コメントフォームは表示されないようになります。

Comunica Templates のテーマではこの部分を若干変更し、「ブログ記事の編集」画面で右側の「コメント」メニューにある「コメントを許可」からチェックを外すと、コメントフォームと共に、既に投稿されたコメントも含め表示しないようにしています。
また、トラックバックに関しても同じ仕様にしています。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（5）SEO 対策（title と meta タグにおける description と keywords）

HTML 文書のヘッダ部分には、その文書がどのような情報を持つページであるのかを、正しくウェブサーバやユーザエイジェントに伝えるための情報が記述されています。この為、その情報の中の「タイトル（title）」や「概要（description）」そして「キーワード（keywords）」に適切なキーワードを含ませることで SEO を意識した記述をすることができます。

HTML 文書のヘッダ部分の「タイトル（title）」、「概要（description）」、「キーワード（keywords）」は以下の図の赤で囲んだ部分になります。

（ちなみに、通常、「タイトル（title）」は、ウェブブラウザでサイトを見ている時に、左上にテキストで表示されます。）

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
   "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja" id="sixapart-standard">
<head>
   <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8" />
   <meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript" />
   <meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css" />
   <meta name="generator" content="Movable Type Pro 5.01" />

   <title>First Website</title> ← タイトル
   <meta name="description" content="ウェブサイト" /> ← 概要
   <meta name="keywords" content="ビジネスブログ,企業ブログ,テンプレート,Movable Type,CSS" /> ← キーワード

   <link rel="stylesheet" href="http://www.yourdomain.com/css/styles.css" type="text/css" media="screen,tv" />
   <link rel="stylesheet" href="http://www.yourdomain.com/css/font_m.css" type="text/css" media="screen,tv" />
   <link rel="stylesheet" href="http://www.yourdomain.com/css/print.css" type="text/css" media="print" />

   <link rel="alternate" type="application/atom+xml" title="サイトの最新記事のフィード" href="http://www.yourdomain.com/atom.xml" />
   <link rel="EditURI" type="application/rsd+xml" title="サイトのRSD" href="http://www.yourdomain.com/rsd.xml" />

   <link rel="start" href="http://www.yourdomain.com/" title="Home" />
   <link rel="index" href="http://www.yourdomain.com/archives.html" title="Sitemap" />

   <script type="text/javascript" src="http://www.yourdomain.com/mt.js"></script>
</head>
```

これらの「タイトル（title）」、「概要（description）」、「キーワード（keywords）」の内容は、テンプレートの種類によって記述される内容が異なってきます。（ここで言うテンプレートの種類とは、「インデックステンプレート」、「アーカイブテンプレート」の中の各種テンプレートのことです。）

それでは、各テンプレートによって出力されるページの、「title」、「description」、「keywords」が、どこから来ているかの説明に入ります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ ウェブサイトのトップページ（「First Website」の「インデックステンプレート」の「メインページ」によって出力されるページ）の title、description、keywords には

Title	「First Website」の「設定」（左のサイドナビゲーションの「設定」＞「全般」）における「名前」が title として記述されるようになっています。 また、「First Website」の「設定」（左のサイドナビゲーションの「設定」＞「全般」）における「名前」に入力された内容は、サイトのロゴ画像の「alt」（画像の説明）箇所に来るようになっています。ロゴ画像は<h1>タグで囲んでいますので、サイトの名前を設定する際は、SEO を十分に意識したサイト名にすることをお勧めします。
Description	「First Website」の「設定」（左のサイドナビゲーションの「設定」＞「全般」）における「説明」が description として記述されるようになっています。
Keywords	「First Website」のテンプレートモジュール（左のサイドナビゲーションの「デザイン」＞「テンプレート」＞右側「クイックフィルタ）の「テンプレートモジュール」）の「キーワード」の内容が keywords に記述されるようになっています。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ ウェブサイトのウェブページ（「First Website」の「アーカイブテンプレート」の「ウェブページ」によって出力されるページ）の title、description、keywords には

Title	ウェブページの「タイトル」が title として記述されるようになっています。
Description	ウェブページの「概要」に入力した内容、もしくは、「概要」に何も記述がない場合はウェブページの「本文」から、「設定」（左のサイドナビゲーションの「設定」＞「投稿」）箇所で指定した「概要の文字数」分が文字の先頭より description として記述されるようになっています。 もしも、「概要」にも「本文」にも記述がない場合は、ウェブページのタイトルが記述されるようになっています。
Keywords	ウェブページの「キーワード」として指定した内容が keywords に記述されるようになっています。 もしも、ウェブページに「キーワード」の指定がない場合は、「First Website」のモジュールである「キーワード」の内容が記述されるようになっています。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ブログのトップページ（「メインのブログ」の「インデックステンプレート」の「メインページ」によって出力されるページ）の title、description、keywords には

Title	「メインのブログ」の「設定」(左のサイドナビゲーションの「設定」＞「全般」）における「名前」が title として記述されるようになっています。
Description	「メインのブログ」の「設定」(左のサイドナビゲーションの「設定」＞「全般」）における「説明」が description として記述されるようになっています。
Keywords	「メインのブログ」のテンプレートモジュール（左のサイドナビゲーションの「デザイン」＞「テンプレート」＞右側「クイックフィルタ）の「テンプレートモジュール」）の「キーワード」の内容が keywords に記述されるようになっています。 もしも、「メインのブログ」のモジュールである「キーワード」に何も記述がない場合は、「First Website」のモジュールである「キーワード」の内容が記述されるようになっています。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ ブログのカテゴリトップページ（「メインのブログ」の「アーカイブテンプレート」の「ブログ記事リスト」によって出力されるページ）の title、description、keywords には

Title	記事が属するカテゴリが title として記述されるようになっています。
Description	記事が属するカテゴリが description として記述されるようになっています。
Keywords	記事が属するカテゴリの「説明」（左のナビゲーションの「ブログ記事」＞「カテゴリ」の「説明」箇所）がある場合は、「説明」箇所に入力された内容が keywords として記述されるようになっています。 もしも、「説明」がない場合は、記事が属するブログのテンプレートモジュール（左のサイドナビゲーションの「デザイン」＞「テンプレート」＞右側「クイックフィルタ）の「テンプレートモジュール」）の「キーワード」の内容が keywords に記述されるようになっています。 もしも、記事が属するブログのモジュールである「キーワード」に何も記述がない場合は、「First Website」のモジュールである「キーワード」の内容が記述されるようになっています。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ ブログのブログ記事（「メインのブログ」の「アーカイブテンプレート」の「ブログ記事」によって出力されるページ）の title、description、keywords には

Title	ブログ記事の「タイトル」が title として記述されるようになっています。
Description	ブログ記事の「概要」に入力した内容、もしくは、「概要」に何も記述がない場合はブログ記事の「本文」から、「設定」（左のサイドナビゲーションの「設定」＞「投稿」）箇所で指定した「概要の文字数」分が文字の先頭より description として記述されるようになっています。 もしも、「概要」にも「本文」にも記述がない場合は、ブログ記事のタイトルが記述されるようになっています。
Keywords	ブログ記事の「キーワード」として指定した内容が keywords に記述されるようになっています。 もしも、ブログ記事に「キーワード」を指定していない場合は、記事が属するブログのテンプレートモジュール（左のサイドナビゲーションの「デザイン」＞「テンプレート」＞右側「クイックフィルタ）の「テンプレートモジュール」）の「キーワード」の内容が keywords に記述されるようになっています。 もしも、記事が属するブログのモジュールである「キーワード」に何も記述がない場合は、「First Website」のモジュールである「キーワード」の内容が記述されるようになっています。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ ブログのウェブページ（「メインのブログ」の「アーカイブテンプレート」の「ウェブページ」によって出力されるページ）の title、description、keywords には

Title	ウェブページの「タイトル」が title として記述されるようになっています。
Description	ウェブページの「概要」として入力した内容、もしくは、「概要」に何も記述がなかった場合はウェブページの「本文」から、設定箇所で指定した文字数分が先頭より、description として記述されるようになっています。 もしも、「概要」にも「本文」にも記述がない場合は、ウェブページのタイトルが記述されるようになっています。
Keywords	ウェブページの「キーワード」として指定した内容が keywords に記述されるようになっています。 もしも、ウェブページに「キーワード」の指定がない場合は、ウェブページが属するブログのテンプレートモジュール（左のサイドナビゲーションの「デザイン」＞「テンプレート」＞右側「クイックフィルタ）の「テンプレートモジュール」）の「キーワード」の内容が keywords に記述されるようになっています。 もしも、記事が属するブログのモジュールである「キーワード」に何も記述がない場合は、「First Website」のモジュールである「キーワード」の内容が記述されるようになっています。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

それでは具体的に、各種テンプレートによって出力されるページの title、description、keywords の設定箇所についてご説明します。

■ ウェブサイトのトップページにおける title と description と keywords

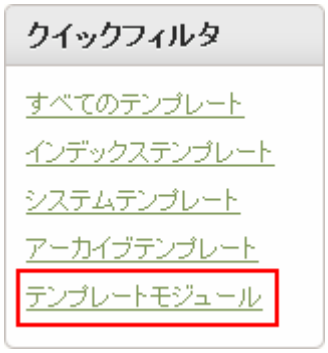
まずは、ウェブサイトのトップページにおける「title」と「description」の設定箇所についてです。「First Website」の管理画面を表示します。左のナビゲーションの「設定」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「全般」をクリックします。

「全般設定」というタイトルのページが表示されます。ここの「ウェブサイト設定」の箇所にある、「名前」が「title」に、「説明」が「description」に記述されることになります。

次は、ウェブサイトのトップページにおける「keywords」の設定箇所に移ります。左のナビゲーションの「デザイン」の右側の矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「テンプレート」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「ウェブサイトテンプレートの管理」というタイトルのページに移りますので、右側の「クイックフィルタ」より「テンプレートモジュール」をクリックします。



「テンプレートモジュール」のセクションが表示されますので、この中の「キーワード」をクリックします。

「テンプレートの編集」というタイトルのページが表示されますので、ここのテキストエリアにキーワードを記述します。キーワードは、単語を半角英数文字のコンマ「,」で区切りながら入力し、最後のテキストの後は改行せず、余分なスペースを含めないようにします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ ウェブサイトのウェブページにおける title と description と keywords

ウェブサイトのウェブページにおける「title」、「description」、「keywords」の設定方法は、「■ブログのブログ記事におけるtitleとdescriptionとkeywords」で説明する設定方法と基本は同じですので、上記リンク先を参考に設定してください。

■ブログのトップページにおける title と description と keywords

ブログのトップページにおける「title」、「description」、「keywords」の設定方法は、「■ ウェブサイトのトップページにおけるtitleとdescriptionとkeywords」で説明した設定方法と基本は同じですので、上記リンク先を参考に設定してください。

■ブログのカテゴリトップページにおける title と description と keywords

ブログのカテゴリトップページにおける「title」と「description」には、その記事が属するカテゴリの「説明」設定箇所に記述された内容が来るようになっています。もしも、「説明」箇所に記述が無い場合は、カテゴリの「名前」に記述された内容が来るようになっています。

「メインのブログ」の管理画面を表示します。左のサイドナビゲーションの「ブログ記事」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「カテゴリ」をクリックします。

「カテゴリの管理」というページに移りますので、ここでは、前回作成したカテゴリの１つ、「01-美術」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「カテゴリの編集」というページが表示されます。この中の「説明」の箇所に記述がある場合は、これがブログのカテゴリトップページの「title」と「description」に記述される内容になります。もしも、「説明」の箇所に何も記述がない場合は、「名前」に入力された内容が、ブログのカテゴリトップページの「title」と「description」に記述される内容になります。

また、ブログのカテゴリトップページにおける「keywords」には、その記事が属するカテゴリの「説明」箇所（上記図の「説明」箇所）に記述された内容が来るようになっていますが、もしも、「説明」箇所に何も記述がない場合は、記事が属するブログのテンプレートモジュールにある「キーワード」の内容が来るようになっています。

この「キーワード」については、「■ブログのトップページにおけるtitleとdescriptionとkeywords」にて設定した「キーワード」の箇所と同じですので、ここではStep by Stepの解説は省略します。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ブログのブログ記事における title と description と keywords

ブログのブログ記事における「title」と「description」と「keywords」は、「ブログ記事」を作成する際に記述する項目の内容が来るようになっています。

ここでは、「（３） ブログ記事の作成」で既に作成しているブログ記事に対して「keywords」を入力し、SEO対策を行います。

「description」については、「■ 概要について」で既に入力済みですので、ここでは入力のステップは省略します。※「description」に入力した内容は、ブログ記事の「最新記事」として、ウェブサイト、ブログのトップページにも表示されます。

また、「description」においては、もしも「概要」に何もテキストが入力されない場合は、「設定」の中の「概要の文字数」分がブログ記事「本文」から取り出されますので、ここでは、「概要の文字数」の変更方法をご紹介します。

「title」には、ブログ記事の「タイトル」が来るようになっています。ですので、ブログ記事の「タイトル」を決める際は、SEO を意識し、できるだけ違和感のない程度で、キーワードをタイトルに組み込むことが大切です。これにより、検索エンジン対策としての効果を高めることができます。

また、title は、description や keywords よりも SEO 効果が高いため、キーワードをうまく組み込んだタイトルの作成は、とても大切な設定ポイントとなります。

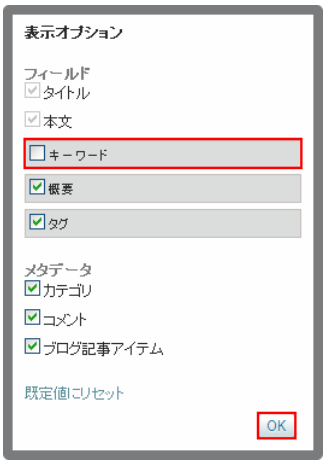
それでは、「メインのブログ」の管理画面を表示します。そして、左のサイドナビゲーションの「ブログ記事」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「一覧」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「ブログ記事の管理」というタイトルのページに移りますので、このページに表示されているブログ記事の中から、ここでは、「美術」をクリックします。

「ブログ記事の編集」というタイトルのページが表示されます。デフォルトの状態では、まだ「キーワード」を入力できるテキストボックスが表示されていませんので、これを表示します。右上にある「表示オプション」をクリックします。

「表示オプション」ウィンドウが表示されますので、この中の「キーワード」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。



Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「キーワード」用のテキストボックスが表示されましたので、「キーワード」を入力します。単語を半角英数文字のコンマ「,」で区切りながら入力します。（最後の単語の後ろにコンマ「,」は必要ありません。）

次に、もしも「概要」のテキストエリアに何も記述がない場合、「概要の文字数」で設定した文字数分が本文から引用され、「description」として表示されますので、「概要の文字数」の設定場所を確認します。

左のサイドナビゲーションの「設定」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「投稿」をクリックします。

「投稿設定」というタイトルのページに移ります。このページの「概要の文字数」という箇所があります。このテキストボックスに設定されている文字数分の「本文」が「概要」として表示されるようになります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「description」として設定する文字数があまりにも長すぎると、検索エンジンサイトによる評価が下がってしまいますので、40～100 文字程度を目安に設定します。

■ブログのウェブページにおける title と description と keywords

ブログのウェブページにおける「title」、「description」、「keywords」の設定方法は、「■ブログのブログ記事におけるtitleとdescriptionとkeywords」で説明した設定方法と基本同じですので、上記リンク先を参考に設定してください。

※「First Website」、「メインのブログ」において、テンプレートモジュールやブログの設定を変更した場合は、必ず両サイトにおいて、サイトを再構築し、変更した箇所をサイト全体に反映します。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（6） ウィジェットについて

Comunica Templates のテンプレートでは MT5 より、それぞれのサイト、ブログにおいて、ウィジェットに対応しています。ウィジェットを利用することで、ウェブサイト、ブログにあるサイドナビゲーションの「カテゴリ」や「最新記事」など、また、サイト、ブログのトップページのコンテンツの並び順などを簡単に変更することができます。ここでは、どの部分がウィジェットに対応している箇所と内容で、どのような変更が行えるのかについて解説します。

■ 「First Website」の共通部分におけるウィジェットセット対応箇所とウィジェットの内容

「First Website」の共通部分で対応しているウィジェットセットは、「2 カラムのサイドバー」箇所です。また、テンプレートのモジュールである「ヘッダー」と「フッター」には、SEO 設定としての「head 要素」と「アクセス解析要素」のウィジェットセットがあります。

「First Website」の共通部分	ウィジェットセット名	ウィジェット名
	2 カラムのサイドバー	サイド ナビカテゴリ Main, サイド ナビページ Main, サイド 最新記事 Main, サイド アイテム Main, サイド タグクラウド, サイド お問い合わせ先, サイド RSS フィード, サイド フリーエリア 1, サイド フリーエリア 2
テンプレート名：ヘッダー	head 要素	ウェブマスターツール
テンプレート名：フッター	アクセス解析要素	グーグルアナリティクス

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ 「First Website」のトップページにおける（共通部分以外の）ウィジェットセット対応箇所とウィジェットの内容

「First Website」のトップページ（共通部分以外）で対応しているウィジェットセットは、「トップのコンテンツ」箇所です。

「First Website」のトップページ	ウィジェットセット名	ウィジェット名
	トップのコンテンツ	トップ Topic, トップ Main ヘッダー, トップ Main カテゴリ, トップ Main 記事 Style ニュース, トップ Main 記事 Style ブログ, コンテンツ フリーエリア

■ 「メインのブログ」の共通部分におけるウィジェットセット対応箇所とウィジェットの内容

「メインのブログ」の共通部分で対応しているウィジェットセットは、「2 カラムのサイドバー」箇所です。また、テンプレートのモジュールである「ヘッダー」と「フッター」には、SEO 設定としての「head 要素」と「アクセス解析要素」のウィジェットセットがあります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「メインのブログ」の共通部分	ウィジェットセット名	ウィジェット名
	2 カラムのサイドバー	サイド ナビカテゴリ Main, サイド ナビページ Main, サイド 最新記事 Main, サイド アイテム Main, サイド タグクラウド, サイド お問い合わせ先, サイド RSS フィード, サイド フリーエリア 1, サイド フリーエリア 2
テンプレート名：ヘッダー	head 要素	ウェブマスターツール
テンプレート名：フッター	アクセス解析要素	グーグルアナリティクス

■ 「メインのブログ」のトップページにおける（共通部分以外の）ウィジェットセット対応箇所とウィジェットの内容

「メインのブログ」のトップページ（共通部分以外）で対応しているウィジェットセットは、「トップのコンテンツ」箇所です。

「メインのブログ」の トップページ	ウィジェットセット名	ウィジェット名
	トップのコンテンツ	トップ Main カテゴリ, トップ Main 記事 Style ニュース, トップ Main 記事 Style ブログ, コンテンツ フリーエリア

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ 「First Website」、「メインのブログ」のウェブページ、各カテゴリのトップページ、そしてエントリーページにおける（共通部分以外の）ウィジェットセット対応箇所とウィジェットの内容

「First Website」、「メインのブログ」のウェブページ、各カテゴリのトップページ、そして、エントリーページ（共通部分以外）で対応しているウィジェットセットは、「コンテンツ要素」の箇所です。※「コンテンツ要素」は記事の下に来るようにしています。

以下の例は「First Website」のウェブページ	ウィジェットセット名	ウィジェット名
	コンテンツ要素	コンテンツ フリーエリア

■ ウィジェットの変更方法：ウィジェットセット「2 カラムのサイドバー」の場合

ここでは、「First Website」にて、各ウィジェットセットにおけるウィジェットの変更方法をご説明したいと思います。「メインのブログ」においても変更方法は同じですので、「メインのブログ」における Step by Step の説明は省略します。

「First Website」の管理画面を表示します。左側のサイドナビゲーションの「デザイン」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「ウィジェット」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

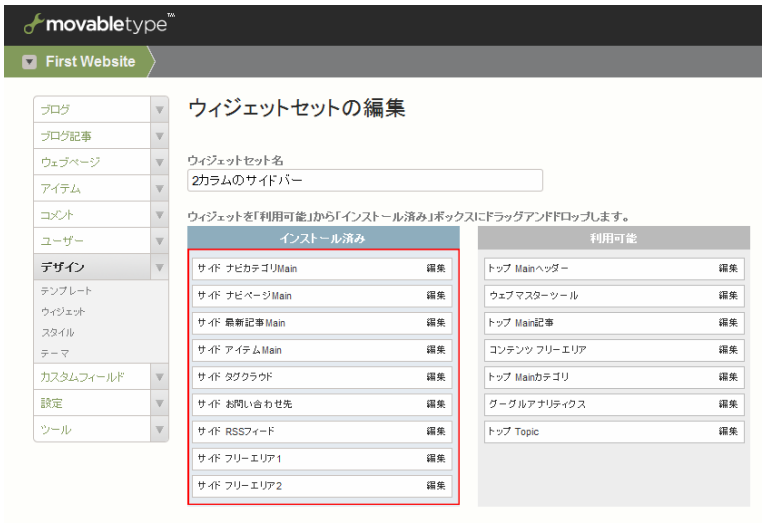
「ウェブサイトウィジェットの管理」のページに移りますので、「2 カラムのサイドバー」をクリックします。

「ウィジェットセットの編集」画面に移ります。
左側の「インストール済み」の欄には、今サイト上で既に利用されているウィジェットがあります。右側の「利用可能」の欄にあるウィジェットは、いつでも利用可能な状態にあるウィジェットですが、今回の「2 カラムのサイドバー」に利用できるウィジェットはなく、「2 カラムのサイドバー」では、デフォルトで「インストール済み」の欄にあるウィジェットのみご利用いただけます。

「First Website」の「2 カラムのサイドバー」のウィジェットセット内に利用できるウィジェットは、「サイド ナビカテゴリ Main」、「サイド ナビページ Main」、「サイド 最新記事 Main」、「サイド アイテム Main」、「サイド タグクラウド」、「サイド お問い合わせ先」、「サイド RSS フィード」、「サイド フリーエリア 1」、「サイド フリーエリア 2」です。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

ウィジェットセット名	利用できるウィジェット
2 カラムのサイドバー	サイド ナビカテゴリ Main
	サイド ナビページ Main
	サイド 最新記事 Main
	サイド アイテム Main
	サイド タグクラウド
	サイド お問い合わせ先
	サイド RSS フィード
	サイド フリーエリア 1
	サイド フリーエリア 2



「2 カラムのサイドバー」内のウィジェットの順序を変更したい場合は、「インストール済み」の中にある各ウィジェットを上下にドラッグし、順序を入れ替えます。順序の入れ替えが終わったら、ページ下部にある「変更を保存」ボタンをクリックし、サイトを再構築します。
※この時、「メインのブログ」のナビゲーションも同じ順序にしたい場合は、「メインのブログ」においても同じように変更をし、再構築を行います。

不必要なウィジェットがある場合は、「インストール済み」の中から「利用可能」の中にウィジェットをドラッグして移動させます。移動が終わったら、ページ下部にあります「変更を保存」ボタンをクリックし、サイトを再構築します。
※この時、「メインのブログ」のナビゲーションも同じ順序にしたい場合は、「メインのブログ」においても同じように変更をし、再構築を行います。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

次にご説明したいのが、「2 カラムのサイドバー」内にあるウィジェット「サイド フリーエリア 2」です。「サイド フリーエリア 2」は、サイドナビ下部にある「Sample Banner1」などのバナーやテキストが来ている部分です。「サイド フリーエリア 2」は、「サイド フリーエリア 1」と異なり、ウェブページで作成されておらず、ウィジェットを直接編集する必要があります。

※「サイド フリーエリア 1」は、「（1-3）ウェブサイトとブログ：サイドナビのフリーエリアを利用」の箇所で既に説明済みです。

前回の Movable Type の画面より、「サイド フリーエリア 2」の「編集」をクリックします。

「ウィジェットの編集」ページが開きますので、 で囲まれている内部を変更します。

ここのエリアに掲載できるバナーのサイズは、ここでは幅 210px までです。（高さは自由です。）※幅のサイズはテンプレートのデザインにより異なります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

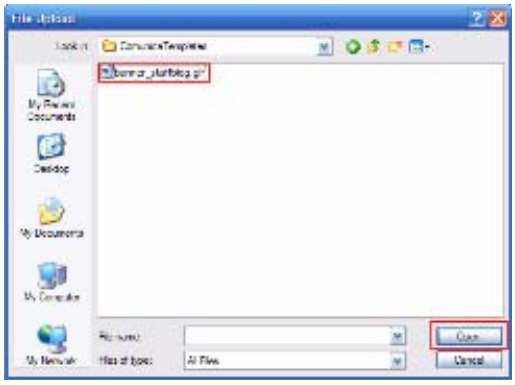
では、 内にあるバナーを変更したいと思います。ここでは、事前準備しておいた「banner_staffblog.gif」という画像をアップロードします。この画像のサイズは、幅 210px 縦 80px です。

左のサイドナビゲーションの「アイテム」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「新規」をクリックします。

「アイテムのアップロード」の画面に移りますので、「アップロードするファイルを選択」の「Browse」ボタンをクリックします。

ポップアップウィンドウが表示されますので、アップロードするファイルを選択します。（ここでは、banner_staffblog.gif）

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.



次に「アップロード先」として、＜サイトパス＞以下のテキストボックスに「images」を入力し、「アップロード」ボタンをクリックします。(画像ファイルは、「images」フォルダに入れるようにします。)

※ここでは「フォルダの選択」を利用したフォルダの作成は行いません。理由は、サイトマップのページに、画像用として作成したフォルダも表示されてしまうからです。(画像用フォルダはサイトマップには表示したくないため。)

「アイテムの管理」画面に移り、画像がアップロードされたことがわかります。この画像、もしくは、「banner_staffblog.gif」のテキストリンクをクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「アイテムの編集」画面に移りますので、下の方にある「アイテムの埋め込み」のところの URL を確認し、ファイル名や保存先を確認しておきます。また、画像の縦と横のサイズをメモしておきます。ここでは、横 210px、縦 80px です。

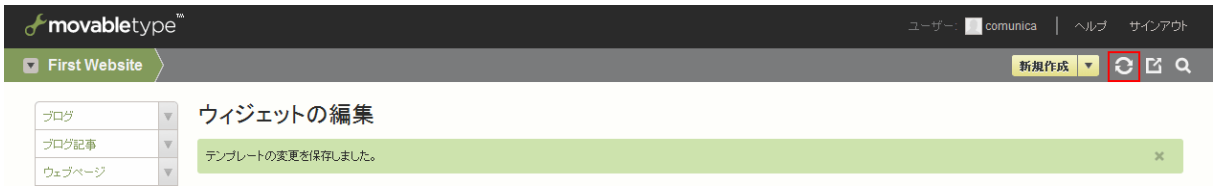
ファイル名と保存先、画像サイズの確認が終わったら、再び先ほどの（ページが開いたままになっている）「ウィジェットセットの編集」画面に戻ります。「サイド フリーエリア 2」の「編集」をクリックします。

「サイド フリーエリア 2」の画面が開きますので、今ほど確認した画像サイズやファイル名などを元に、コードを以下のように変更し、ページ下方の「変更を保存」ボタンをクリックします。（画像は、
タグの中の
から
タグの中に入れます。画像がもう 1 枚ある場合は、
を追加します。）

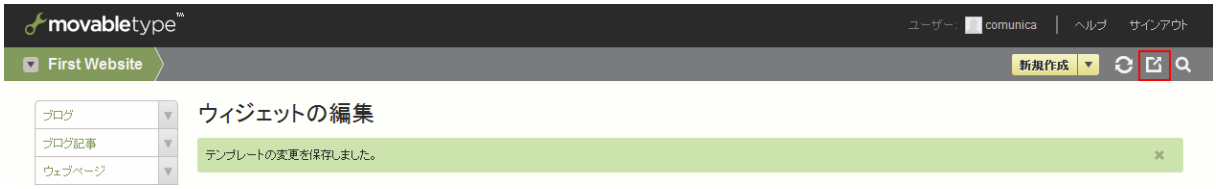
Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

```
<div class="box2 pkg"><div class="inner">
<ul>
<li><a href="http://www.comunicatemplates.com/"><img
src="<$MTBlogURL$>images/banner_staffblog.gif" width="210" height="80"
alt="YourCompany のスタッフブログです。" /></a></li>
</ul>
<p>スタッフブログはほぼ毎日更新しています！</p>
</div></div>
```

「テンプレートの変更を保存しました。」とメッセージが出ますので、サイトを再構築します。（再構築ボタンをクリックします。）



再構築が終わったら、「サイトの表示」ボタンをクリックします。



「First Website」のトップページが表示され、変更したバナーがサイドナビの下部に表示されたことがわかります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

今回「サイド フリーエリア 2」には、バナーの入れ方を紹介しましたが、バナー以外にもGoogle AdSense などの広告も入れることができますので、様々な用途に応じて、自由にお使いください。

※ウィジェットは、ウェブサイト、ブログと、個別に対応していますので、「First Website」で指定したバナーを「メインのブログ」でも使用したい場合は、「メインのブログ」の方にも同じように設定を行う必要があります。逆に、「First Website」には表示したいが、「メインのブログ」、には表示したくない場合などにも柔軟に対応できます。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ ウィジェットの変更方法：ウィジェットセット「トップのコンテンツ」の場合

次は、「First Website」のトップページにおけるウィジェットセット「トップのコンテンツ」の変更方法について、説明に入ります。

先ほどの Movable Type の画面より、左のサイドナビゲーションの「ウィジェット」をクリックします。

「ウェブサイトウィジェットの管理」のページに移りますので、「トップのコンテンツ」をクリックします。

「トップのコンテンツ」の「ウィジェットセットの編集」画面に移ります。
左側の「インストール済み」の欄にあるウィジェットが、今現在サイト上で既に使用されているウィジェットです。右側の「利用可能」の欄にあるウィジェットは、いつでも利用可能な状態にあるウィジェットですが、ウィジェットセットである「トップのコンテンツ」に利用できるウィジェットは「トップ Main 記事 Style ブログ」のみです。

※左側の「インストール済み」にある「トップ Main 記事 Style ニュース」と右側の「利用可能」側にある「トップ Main 記事 Style ブログ」を入れ替えることで、「トップのコンテンツ」の「最新記事」の表示方法を「Style ニュース」から「Style ブログ」に変更することができます。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

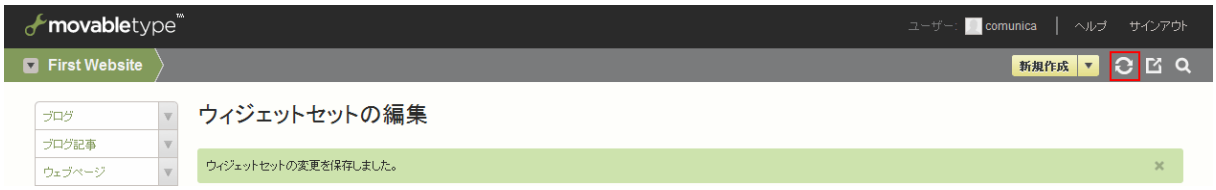
「First Website」の「トップのコンテンツ」のウィジェットセット内に利用できるウィジェットは、「トップ Topic」、「トップ Main ヘッダー」、「トップ Main カテゴリ」、「トップ Main 記事 Style ニュース」、「トップ Main 記事 Style ブログ」、「コンテンツ フリーエリア」です。

ウィジェットセット名	利用できるウィジェット
トップのコンテンツ	トップ Topic
	トップ Main ヘッダー
	トップ Main カテゴリ
	トップ Main 記事 Style ニュース
	トップ Main 記事 Style ブログ
	コンテンツ フリーエリア

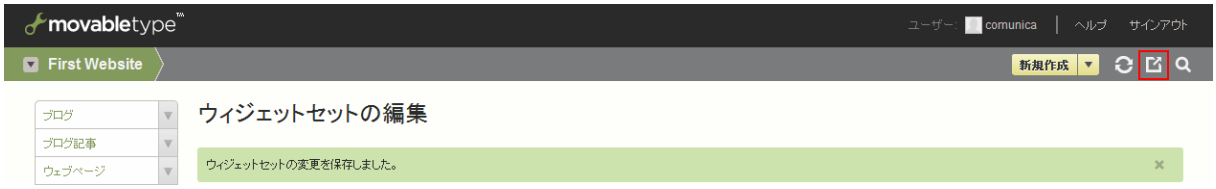
ここでは、「トップのコンテンツ」の順序を変更したいと思います。仮の例として、「インストール済み」欄の「トップ Topic」を一番下に持って行きます。変更が終わったら、ページ下方にある「変更を保存」ボタンをクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「ウィジェットセットの変更を保存しました。」とメッセージが出ますので、サイトを再構築します。（再構築ボタンをクリックします。）



再構築が終了したら、「サイトの表示」をクリックします。



「First Website」のトップページが表示され、「トップ Topic」が一番下に移動したことがわかります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ ウィジェットの変更方法：ウィジェットセット「コンテンツ要素」の場合

「First Website」のウェブページ、「メインのブログ」のブログ記事、ウェブページのコンテンツ下には、「コンテンツ要素」というウィジェットセットが来るようになっています。

この「コンテンツ要素」には、「コンテンツ フリーエリア」というウィジェットがあり、お問い合わせ/資料申し込みなどのバナーを配置したり、Google AdSense などの広告を載せたりすることができます。

※ウィジェットセット「コンテンツ要素」に含まれるウィジェット「コンテンツ フリーエリア」は、前述のウィジェットセット「トップのコンテンツ」にも含まれて居ます（共有されています）。ですので、「コンテンツ フリーエリア」の中身を変更すれば、ウィジェットセットの「コンテンツ要素」と「トップのコンテンツ」の、「コンテンツ フリーエリア」の箇所が変更されます。

ここでは、ウィジェットである「コンテンツ フリーエリア」のどの部分が変更可能であるかと、実際にバナーを変更したいと思います。

先ほどの Movable Type の画面より、左のサイドナビゲーションの「ウィジェット」をクリックします。

「ウェブサイトウィジェットの管理」のページに移りますので、この中の「コンテンツ要素」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「ウィジェットセットの編集」画面になりますので、「インストール済み」になっている「コンテンツ フリーエリア」の「編集」をクリックします。
※ウィジェットセット「コンテンツ要素」に含めることができるのは、「コンテンツ フリーエリア」のウィジェットのみです。

「コンテンツ フリーエリア」の「ウィジェットの編集」画面が表示されます。
から 内に、バナーやテキストなどを入力します。
バナーやテキストなどを入れる場合は、 から 内に、以下をのタグ（赤字）類を使用して入力します。

```
<div class="banner">
<img src="<$MTBlogURL$>images/banner_02.gif" width="680" height="140" alt=”画像の説明” />
</div>

<div class="box pkg">
お問い合わせは： <a href="contact.html">お問い合わせフォーム </a>もしくは<br />
E-mail： info@yourcompany.com<br />
電話番号： 123-123-1234<br />
FAX： 123-123-1234
</div>

<p>テキストが来る時は、&lt;p&gt;&lt;/p&gt;タグで囲みます</p>
```

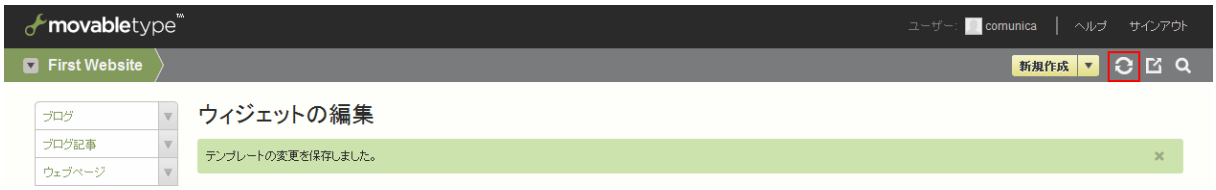
Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

ここでは、上記の から 内にあるバナーを変更したいと思います。バナー画像のアップロード方法は、「■ ウィジェットの変更方法：ウィジェットセット「2カラムのサイドバー」の場合」の後半（バナー変更部分）をご参照ください。

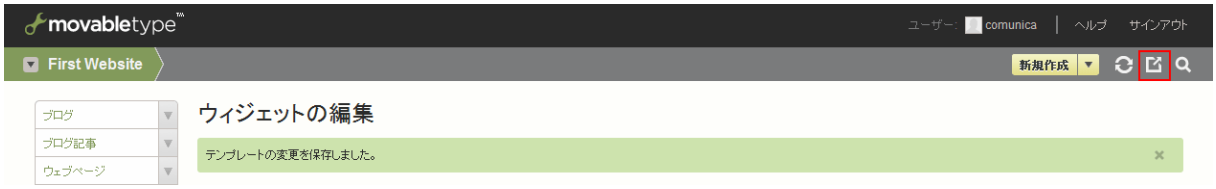
ここでは、「banner_shiryo.gif」という画像を上記手順に従ってアップロードしました。この画像のサイズは、幅 710px 縦 140px です。コードは以下のように変更し、ページ下方の「変更を保存」ボタンをクリックします。（画像にはリンクを付けています。）

<img src="<$MTBlogURL$>images/banner_shiryo.gif" width="710" height="140" alt="バナー" />

「テンプレートの変更を保存しました。」とメッセージが出ますので、サイトを再構築します。（再構築ボタンをクリックします。）

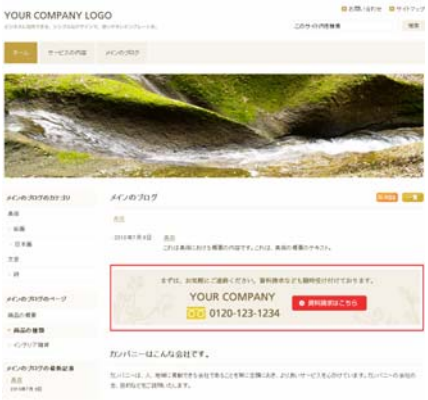


再構築が終わったら、「サイトの表示」ボタンをクリックします。

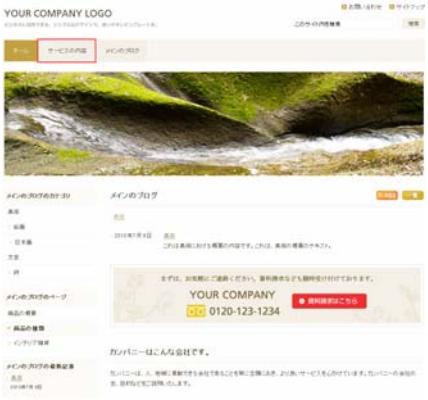


Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「First Website」のトップページが表示され、「コンテンツ フリーエリア」で変更したバナーが表示されていることがわかります。(バナーの箇所は、ウィジェットセット「トップのコンテンツ」で、位置を変更することができます。)



ウィジェット「コンテンツ フリーエリア」は、ウィジェットセット「コンテンツ要素」と「トップのコンテンツ」で共有されていますので、今変更したバナーの内容は、「First Website」のウェブページ上でも反映されています。サイト上の「サービスの内容」をクリックします。



「サービスの内容」ページに移り、コンテンツの下に、今ほど変更したバナーが表示されていることがわかります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

※ウィジェットは、ウェブサイト、ブログと、個別に対応していますので、「First Website」で指定したバナーを「メインのブログ」でも使用したい場合は、「メインのブログ」の方にも同じように設定を行う必要があります。逆に、「First Website」には表示したいが、「メインのブログ」、には表示したくない場合などにも柔軟に対応できます。

■ ウィジェットの変更方法：ウィジェットセット「head 要素」の場合

ウィジェットセットの「head 要素」には、「Google ウェブマスターツール」のメタタグなどを入力することができる「ウェブマスターツール」というウィジェットを用意しています。（Google のメタタグ以外にも、Javascript などのコードも入れていただけます。）

「Google ウェブマスターツール」については、下記 URL 先より内容をご確認ください。以下に参考 URL を記載します。

Google　ウェブマスターツールについて：

- https://www.google.com/webmasters/tools/
- http://www.google.co.jp/webmasters/edu/quickstartguide/index.html

それでは、ここでは、仮に Google のウェブマスターツールで得たメタタグを、ウィジェットセット「head 要素」内にある、ウィジェット「ウェブマスターツール」に入力するまでをご説明します。

※Google のウェブマスターツールで得られるメタタグのステップなどはここでは省略します。

先ほどの（ページが開いたままになっている）「ウィジェットセットの編集」画面に戻ります。左のサイドナビゲーションの「ウィジェット」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「ウェブサイトウィジェットの管理」のページに移りますので、「head 要素」をクリックします。

「ウィジェットセットの編集」ページに移りますので、「インストール済み」になっている「ウェブマスターツール」の「編集」をクリックします。
※デフォルトの設定で、ウィジェットセット「head 要素」に含めることができるのは、「インストール済み」側にある「ウェブマスターツール」のウィジェットのみですが、新しいウィジェットを作成し、それを「head 要素」内に追加することも可能です。

「ウェブマスターツール」の「ウィジェットの編集」画面が表示されます。
デフォルトの状態ではコメントが記載されており、その内容通り、Google のメタタグを入れる場合は、<MTIf name="main_index">から</MTIf>の間までに入れます。

※Google のメタタグは、サイトのトップページにのみ入力のため<MTIf name="main_index">から</MTIf>の間までに入れます。

<MTIf name="main_index">から</MTIf>の間に Google のメタタグを入力し、ページ下方にある「変更を保存」ボタンをクリックします。ここでは、仮に以下の Google メタタグを入力するとします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

<meta name="verify-v1"
content="+igCTdJYKBCiGWrs5go6dMUfEUWELVbFbpL2qwR34Hu=" />

「テンプレートの変更を保存しました。」とメッセージが表示されますので、サイトを再構築します。（再構築ボタンをクリックします。）

再構築が終わったら、「サイトの表示」ボタンをクリックします。

「First Website」のトップページが表示されますので、このページのソースコードを確認します。（確認方法は、ブラウザのナビゲーションバーにある「表示」＞「ページのソース」をクリックします。）トップページに入力した Google のメタタグが<head>から</head>内に記載されていることがわかります。

※メタタグの追加場所は、Google の指定＝「サイトのホームページにある最初の<body>セクションの前の初めの<head> セクションに貼り付けます。」通りにしています。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

Google のメタタグは、サイトのトップページにのみ入力するものなので、念のため、トップページ以外のページに記載されていないか調べます。サイトの「サービスの内容」をクリックし、上記と同様にページのソースを確認します。「サービスの内容」ページには、メタタグは記載されていないことが確認できます。

冒頭でも述べましたが、ウィジェット「ウェブマスターツール」に Javascript などを設けることも可能です。その場合は、「First Website」の分であれば、<MTIf name="main_index">から</MTIf>以外の箇所（上記記載）にコードを入力します。

また、「メインのブログ」にも「ウェブマスターツール」のウィジェットを用意していますが、こちらには、Google のメタタグを入力することはありませんので、<MTIf name="main_index">から</MTIf>の記載はありません。こちらの分に関しては、Javascript などを入力するウィジェットとしてご利用ください。

■ ウィジェットの変更方法：ウィジェットセット「アクセス解析要素」の場合

SEO 対策としてサイトのアクセスを解析するツールに Google Analytics という解析ツールがあります。Comunica Templates ではウィジェットセット「アクセス解析要素」に含む事ができるウィジェットとして、「グーグルアナリティクス」というウィジェットを用意しています。ここではこれに、アクセス解析用のコードを入力するまでを解説したいと思います。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

Google Analytics について：

- http://www.google.com/intl/ja/analytics/

先ほどの Movable Type の画面より、左のサイドナビゲーションの「ウィジェット」をクリックします。

「ウェブサイトウィジェットの管理」のページに移りますので、「アクセス解析要素」をクリックします。

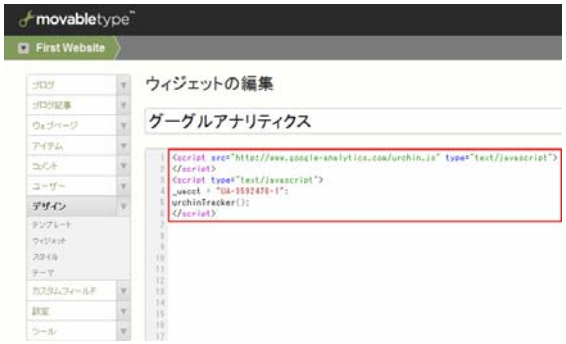
「ウィジェットセットの編集」画面に移りますので、「インストール済み」になっている「グーグルアナリティクス」の「編集」をクリックします。

※デフォルトの設定で、ウィジェットセット「アクセス解析要素」に含めることができるのは、「インストール済み」側にある「グーグルアナリティクス」のウィジェットのみですが、新しいウィジェットを作成し、それを「アクセス解析要素」内に追加することも可能です。

「グーグルアナリティクス」の「ウィジェットの編集」画面が開きますので、ここに Google Analytics 用のコードを入力し、ページ下方にある「変更を保存」ボタンをクリックします。ここでは、以下のサンプルコードを入力します。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

<script src="http://www.google-analytics.com/urchin.js" type="text/javascript">
</script>
<script type="text/javascript">
_uacct = "UA-3592476-1";
urchinTracker();
</script>



「テンプレートの変更を保存しました。」とメッセージが表示されますので、サイトを再構築します。（再構築ボタンをクリックします。）

再構築が終わったら、「サイトの表示」ボタンをクリックします。

「First Website」のトップページが表示されますので、このページのソースコードを確認します。（確認方法は、ブラウザのナビゲーションバーにある「表示」＞「ページのソース」をクリックします。）ページソースの下方に、ただ今入力した Google Analytics 用のコードが記載されていることがわかります。

※Google Analytics のコードは、</body>タグの真上に貼り付けるように Google Analytics の方で指定があります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

```
    <address>Copyright &copy; First Website<br />
    Powered by <a href="http://www.sixapart.jp/movabletype/" target="_blank" title="Movable Type Pro 5.01">Movable Type Pro 5.01</a>
    Theme by <a href="http://www.comunicatemplates.com" target="_blank" title="Comunica Templates">Comunica Templates</a>
    </address>

  </div>
  <!-- //Footer -->

</div> <!-- //wrapper -->
<script src="http://www.google-analytics.com/urchin.js" type="text/javascript">
</script>
<script type="text/javascript">
_uacct = "UA-3592476-1";
urchinTracker();
</script>

</body>
</html>
<!-- //Footer -->
```

アクセス解析はサイト全体にコードを貼り付ける必要がありますので、「First Website」だけでなく、「メインのブログ」においても上記コードを貼り付け、サイトを再構築します。

これで、テーマにおける大体の「ウィジェットセット」と「ウィジェット」についてのポイントを押さえる事ができました。後は、サイドナビにおける各項目の順序を変更したり、不必要な項目は「インストール済み」から「利用可能」欄に移したりなどして、ご自由にサイトを構成されてください。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（7） ロゴの入れ替え

Comunica Templates のテーマで作成したサイトのロゴを変更するには、ロゴの画像（logo.gif）を修正し、画像の差し換えを行います。
※画像を修正するには、画像編集ソフト（＝Photoshop など）が必要です。また、logo.gif の元画像（psd ファイル）は、元画像フォルダの中にあります。

logo.gif などの画像が入ったフォルダ（images）は、「First Website」用のテーマをインストールするのと同時に、サイト直下にインストールされています。例えば、公開パスであるウェブサイトの URL が「http://www.yourdomain.com/」であれば、「images」フォルダは、「http://www.yourdomain.com/」直下にインストールされ、「images」フォルダまでのパスは、「http://www.yourdomain.com/images/」という具合に示すことができます。

この「images」フォルダ内にある「logo.gif」を差し替えるには、2 つの方法があります。
1 つは FTP クライアントなどを利用し、ローカル側に用意している修正済みの「logo.gif」を、サーバ側にある「images」フォルダ内の「logo.gif」に上書きする方法。
もう 1 つは、「First Website」の Movable Type の管理画面からローカル側に用意している修正済みの「logo.gif」をアップロードし、画像を上書き保存する方法です。

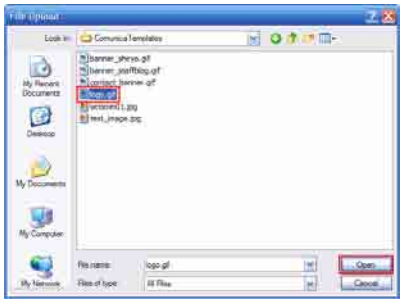
ここでは、Movable Type の管理画面からローカル側に用意している修正済みの「logo.gif」をアップロードし、サイトのロゴを差し替える方法をご説明します。

「First Website」の管理画面を表示します。左のサイドナビゲーションの「アイテム」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「新規」をクリックします。

「アイテムのアップロード」というタイトルのページに移りますので、「アップロードするファイルを選択」の「Browse」ボタンをクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

ローカルサイドでポップアップウィンドウが表示されますので、アップロードするファイルを選択します。（ここでは、事前に準備していた logo.gif - サイズは、幅 465px 縦 65px）



次に「アップロード先」として、＜サイトパス＞以下のテキストボックスに「images」を入力し、「アップロード」ボタンをクリックします。（画像ファイルは、「images」フォルダに入れるようにします。）

※ここでは「フォルダの選択」を利用したフォルダの作成は行いません。理由は、サイトマップのページに、画像用として作成したフォルダも表示されてしまうからです。（画像用フォルダはサイトマップには表示したくないため。）

「同名のアイテム'logo.gif'がすでに存在します。上書きしますか?」というメッセージが出てきますので、「はい」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

「アイテムの管理」画面に移り、「logo.gif」の画像がアップロードされたことがわかります。

「サイトの表示」ボタンをクリックして、サイトを確認します。

ロゴの画像が変更されたことがわかります。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

画像サイズに関しては、基本、テンプレート内の logo.gif のサイズに合わせます。もしも、logo.gif のサイズを変更する場合は、「First Website」の「テンプレートモジュール」である「ヘッダー」の該当箇所を修正します。(<h1>〜</h1>で囲まれた箇所の img タグにある width と height のところです。)

今回アップロードした画像は、元来の logo.gif の画像サイズ（横 420px 縦 65px）よりも横幅が大きく、横 465px 縦 65px ですので、テンプレートの該当箇所のサイズを変更します。

先ほどの Movable Type の管理画面より、左のサイドナビゲーションの「デザイン」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「テンプレート」をクリックします。

「ウェブサイトテンプレートの管理」ページに移りますので、右側の「クイックフィルタ」より「テンプレートモジュール」をクリックします。

「テンプレートモジュール」のセクションが表示されますので、この中から「ヘッダー」をクリックします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

<h1>〜</h1>で囲まれた<img>タグのlogo.gifの箇所がありますので、そこのwidthを「465」に変更し、ページ下方にある「変更を保存」ボタンをクリックします。

「テンプレートの変更を保存しました。」とメッセージが表示されますので、サイトを再構築します。（再構築ボタンをクリックします。）

再構築が終わったら、「サイトの表示」ボタンをクリックします。

「First Website」のトップページが表示され、先ほどまでサイズの違いによりロゴ画像に歪みが出ていましたが、これがなくなったことがわかります。

同様の作業（「ヘッダー」テンプレートの<h1>〜</h1>で囲まれた<img>タグの logo.gif の箇所にある width の数値を「465」に変更、保存し、サイトを再構築）を「メインのブログ」にも適用し、画像サイズの変更を反映させます。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（8） トップイメージの入れ替え

トップページの「トップイメージ」を変更するには、top_image.jpg、トップページ以外の「トップイメージ」を変更するには、top_image2.jpg を修正し、画像の差し換えを行います。

※画像を修正するには、画像編集ソフト（＝Photoshop など）が必要です。また、top_image.jpg、top_image2.jpg の元画像は、元画像フォルダの中にあります。

「（7） ロゴの入れ替え」の時と同じように、top_image.jpg、top_image2.jpgなどの画像が入ったフォルダ（images）は、「First Website」用のテーマをインストールしたのと同時に、サイト直下にインストールされています。

例えば、公開パスであるウェブサイトの URL が「http://www.yourdomain.com/」であれば、「images」フォルダは、「http://www.yourdomain.com/」直下にインストールされ、「images」フォルダまでのパスは、「http://www.yourdomain.com/images/」という具合に示すことができます。

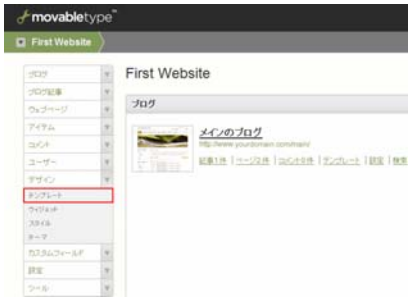
この「images」フォルダ内にある「top_image.jpg」、「top_image2.jpg」を差し替えるには、「（7） ロゴの入れ替え」の時と同じように、2 つの方法があります。1 つはFTPクライアントなどを利用し、ローカル側に用意している修正済みの「top_image.jpg」，「top_image2.jpg」を、サーバ側にある「images」フォルダ内の「top_image.jpg」、「top_image2.jpg」に上書きする方法。もう 1 つは、Movable Type の管理画面からローカル側に用意している修正済みの「top_image.jpg」、「top_image2.jpg」をアップロードし、画像を上書き保存する方法です。

Movable Typeの管理画面を使用した画像のアップロード方法については、「（7） ロゴの入れ替え」の時の解説と同じですので、「（7） ロゴの入れ替え」の該当箇所をご参照ください。

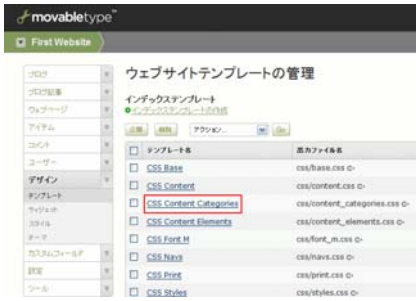
画像サイズに関しては、基本、テンプレート内の「top_image.jpg」、「top_image2.jpg」のサイズに合わせます。もしも、「top_image.jpg」、「top_image2.jpg」のサイズを変更する場合は、「First Website」の「インデックステンプレート」内にある「CSS Content Categories」というテンプレートの「div.top-image」（top_image.jpg 用）、「div.top-image2」（top_image2.jpg 用）の箇所にある「width」と「height」を修正し、「保存と再構築」をします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

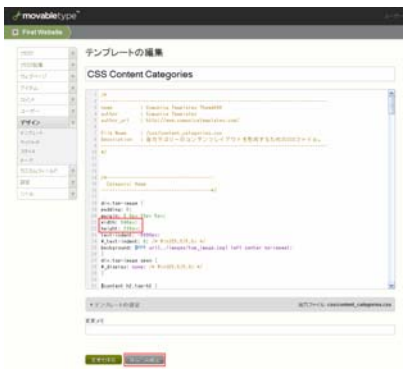
ここでは、この「width」と「height」を修正するまでをご説明します。
「First Website」の管理画面を表示します。左のサイドナビゲーションの「デザイン」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「テンプレート」をクリックします。



「ウェブサイトテンプレートの管理」ページが表示されますので、この中の「CSS Content Categories」をクリックします。



「テンプレートの編集」画面が表示されます。18 行目あたりに「div.top-image」の箇所があり、その下 21 行目と 22 行目あたりに「width: 960px;」と「height: 240px;」（テンプレートのデザインにより行やサイズが若干異なります）がありますので、画像サイズに変更がある場合は、ここの数値を変更し、「保存と再構築」ボタンをクリックします。
「div.top-image2」は 27 行目あたりにあります。「メインのブログ」にも再構築を行い、サイズ変更を反映します。



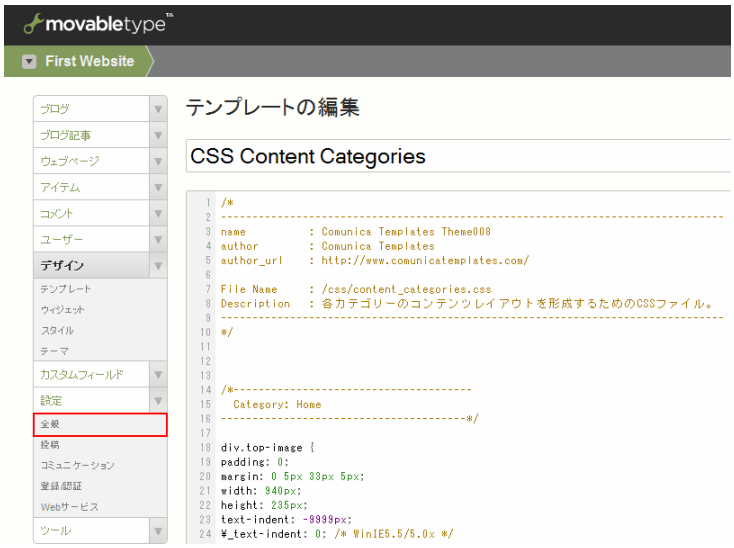
Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

また、「トップイメージ」の画像は、css ファイル側で背景画像として設定しているので、HTML サイドでタグが空要素にならないように（マークアップの構文エラーにならないように)、「First Website」の「説明」（サイドナビゲーションの「設定」＞「全般」＞「説明」）箇所で設定した内容が、その空要素の箇所に来るようにしています。

ブログの場合は、「メインのブログ」の「説明」（サイドナビゲーションの「設定」＞「全般」＞「説明」）箇所で設定した内容が、その空要素の箇所に来るようにしています。
（ブラウザ上では指定したテキストは、視覚的には見えません。）

ここでは、「First Website」における「説明」の設定箇所がどこであるのかについて、ご説明します。「メインのブログ」においてもステップは同様ですので、「メインのブログ」に関するステップは、ここでは省略します。

先ほどの Movable Type の管理画面より、サイドナビゲーションの「設定」の右側にある矢印をクリックし、出てくるサブメニューの中の「全般」をクリックします。



「全般設定」というタイトルのページが表示されます。このページの「説明」の箇所に、このサイトについての簡単な概要を記述し、下方にある「変更を保存」ボタンをクリックします。この「説明」が「トップイメージ」用のテキストになります。

※この「説明」の部分は、「■ ウェブサイトのトップページ（「First Website」の「インデックステンプレート」の「メインページ」によって出力されるページ）のtitle、description、keywordsには」において、「description」として説明したところと同じ箇所です。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

設定後は、この変更をサイトに反映するために、「First Website」を再構築します。再構築後、「First Website」のトップページの HTML ファイルを調べると、「トップイメージ」の箇所に、上記「説明」で入力したテキストが記述されているのがわかります。

```
<!-- Pagebody -->
<div id="pagebody_top" class="pkg">

<div class="top-image"><span>Artに関するサイト</span></div>

<div id="content" class="pkg">
<!-- //Header -->
```


Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（9） 文字サイズの変更

Comunica Templates のテンプレートには、文字サイズを調整するための専用 CSS ファイルがあります。「First Website」の「インデックステンプレート」内にある「CSS Font M」というテンプレートが、これにあたります。（左のサイドナビゲーション：「デザイン」＞「テンプレート」＞「インデックステンプレート」＞「CSS Font M」）

既定の設定では、コンテンツ部分やサイドナビ部分の文字は同じサイズにしています。
コンテンツ部分だけ文字サイズを若干大きくしたい場合は、上記テンプレート（「CSS Font M」）の該当箇所を以下のように変更し、「保存と再構築」ボタンをクリックします。

#content {
font-size: 100%;
}
#pagebody_top
#content {
font-size: 100%;
}
	左側の赤字で記しているフォントサイズ 100%を、右側→のように 110%にします。	#content {
		font-size: 110%;
		}
		#pagebody_top
		#content {
		font-size: 110%;
		}

トップページのコンテンツのフォントサイズのみを大きくしたい場合は、以下の部分を変更し、「保存と再構築」ボタンをクリックします。

#pagebody_top
#content {
font-size: 100%;
}
	左側の赤字で記しているフォントサイズ 100%を、右側→のように 110%にします。	#pagebody_top
		#content {
		font-size: 110%;
		}

トップページのコンテンツのフォントサイズはそのままで、トップページ以外のコンテンツのフォントサイズのみを大きくしたい場合は、以下の部分を変更し、「保存と再構築」ボタンをクリックします。

#content {
font-size: 100%;
}
	左側の赤字で記しているフォントサイズ 100%を、右側→のように 110%にします。	#content {
		font-size: 110%;
		}

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

タグクラウドのフォントサイズを変更したい場合は、以下の箇所のフォントサイズを変更します。サイズは 1〜8 までとなります。

```
#sidebar ul.tagclouds .size1   { font-size: 160%; }
#sidebar ul.tagclouds .size2   { font-size: 150%; }
#sidebar ul.tagclouds .size3   { font-size: 140%; }
#sidebar ul.tagclouds .size4   { font-size: 130%; }
#sidebar ul.tagclouds .size5   { font-size: 125%; }
#sidebar ul.tagclouds .size6   { font-size: 115%; }
#sidebar ul.tagclouds .size7   { font-size: 100%; }
#sidebar ul.tagclouds .size8   { font-size: 85%;   }
```

これら以外にもヘッダーやフッター、h1〜h6 などのテキストサイズを変更できます。
（※但し h1 タグは、サイトのロゴ画像用に使用しています。）
詳しくは、「First Website」の「インデックステンプレート」内にある CSS 用テンプレート「CSS Font M」をご確認ください。

※フォントサイズの指定は、px などの絶対指定ではなく、%（もしくは em）などの相対指定にします。これはサイトを訪れてくれる方々（特に IE を使用している方々）に対するユーザビリティの考慮のためです。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（１０） 用意されている HTML タグ用のクラス

Movable Type で記事を書く際、ある箇所だけフォントサイズを小さくしたり、大きくしたり、テキストを右寄せ、左寄せにしたり、また、画像を挿入した箇所の右や左、上や下に余白を設けたい場合があると思います。これらの場合を想定し、Comunica Templates のテンプレートでは、予め、これらの指定を持った CSS のクラスを用意しています。

※CSS 用のテンプレートは、「First Website」の「インデックステンプレート」内にあります。

■ フォントサイズ用の CSS クラス

フォントサイズ用の CSS クラスとして、以下のクラスを用意しています。

・このクラスを指定している CSS 用テンプレート名：CSS Font M

```
.fontSmall {
        font-size: 85%;}
.fontMedium {
        font-size: 100%;}
.fontLarge {
        font-size: 115%;}
.fontLarge-x {
        font-size: 125%;}
.fontLarge-xx {
        font-size: 130%;}
.fontLarge-xxx {
        font-size: 140%;}
.fontLarge-xxxx {
        font-size: 150%;}
.fontLarge-xxxxx {
        font-size: 160%;}
```

＜例１＞
記事を書く際、小さい文字でテキストを指定したい場合、HTML タグ用のクラスとして.fontSmall を使用できます。

```
<p class="fontSmall">〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇</p>
```


Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

＜例２＞
大きい文字でテキストを指定したい場合は、HTML タグ用のクラスとして fontLarge を使用できます。
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

■ スペース用の CSS クラス

スペース用の CSS クラスとして、以下のクラスを用意しています。
（margin だけでなく、padding もあります。）

・このクラスを指定している CSS 用テンプレート名：CSS Content Elements

```
.margin-right5 {
margin-right: 5px;
}
.margin-right10 {
margin-right: 10px;
}
.margin-right15 {
margin-right: 15px;
}
.margin-right20 {
margin-right: 20px;
}
.margin-right25 {
margin-right: 25px;
}
.margin-right30 {
margin-right: 30px;
}
.margin-right35 {
margin-right: 35px;
}
.margin-right40 {
margin-right: 40px;
}
.margin-right45 {
margin-right: 45px;
}
```


Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

```
.margin-right50 {
margin-right: 50px;
}

.margin-left5 {
margin-left: 5px;
}
.margin-left10 {
margin-left: 10px;
}
.margin-left15 {
margin-left: 15px;
}
.margin-left20 {
margin-left: 20px;
}
.margin-left25 {
margin-left: 25px;
}
.margin-left30 {
margin-left: 30px;
}
.margin-left35 {
margin-left: 35px;
}
.margin-left40 {
margin-left: 40px;
}
.margin-left45 {
margin-left: 45px;
}
.margin-left50 {
margin-left: 50px;
}

.margin-top5 {
margin-top: 5px;
}
```


Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

```
.margin-top10 {
margin-top: 10px;
}
.margin-top15 {
margin-top: 15px;
}
.margin-top20 {
margin-top: 20px;
}
.margin-top25 {
margin-top: 25px;
}
.margin-top30 {
margin-top: 30px;
}
.margin-top35 {
margin-top: 35px;
}
.margin-top40 {
margin-top: 40px;
}
.margin-top45 {
margin-top: 45px;
}
.margin-top50 {
margin-top: 50px;
}

.margin-bottom5 {
margin-bottom: 5px;
}
.margin-bottom10 {
margin-bottom: 10px;
}
.margin-bottom15 {
margin-bottom: 15px;
}
```


Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

```
.margin-bottom20 {
margin-bottom: 20px;
}
.margin-bottom25 {
margin-bottom: 25px;
}
.margin-bottom30 {
margin-bottom: 30px;
}
.margin-bottom35 {
margin-bottom: 35px;
}
.margin-bottom40 {
margin-bottom: 40px;
}
.margin-bottom45 {
margin-bottom: 45px;
}
.margin-bottom50 {
margin-bottom: 50px;
}
```

＜例１＞

記事を書く際、下のパラグラフとの間にスペースを設けたい場合、HTML タグ用のクラスとして margin-bottom5（～margin-bottom50 まで）を使用できます。

```
<p class="margin-bottom50">○○○○○○○○○○</p>
```

＜例２＞

画像を挿入し右側に寄せた場合で、画像の左側にスペースを設けたい場合、HTML タグ用のクラスとして margin-left5（～margin-left50 まで）を使用できます。

```
<img class="margin-left20 float-right" src="images/photo.jpg" width="150" height="80" alt="Photo" />
```


Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ フロート用の CSS クラス

フロート用の CSS クラスとして、以下のクラスを用意しています。

・このクラスを指定している CSS 用テンプレート名：CSS Content Elements

```
.float-right {
float: right;
}
.float-left {
float: left;
}
.clear-both {
clear: both;
}
```

＜例１＞
画像を挿入した際、align を使わずに右寄せにしたい場合、HTML タグ用のクラスとして float-right を使用できます。

```
<img class=”float-right” src="images/photo.jpg" width="150" height="80"
alt="Photo" />
```

＜例２＞
<img>にフロートが使われているパラグラフに後続するパラグラフが、前述のフロートに影響される場合、HTML タグ用のクラスとして clear-both を使用できます。

```
<p><img class=”float-right” src="images/photo.jpg" width="150" height="80"
alt="Photo" />○○○○○○○○○○</p>

<h3 class=”clear-both”>○○○○○○○○○○</h3>
<p>○○○○○○○○○○</p>
```


Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

■ 行揃え・均等割付（text-align）用の CSS クラス

行揃え・均等割付（text-align）用の CSS クラスとして、以下のクラスを用意しています。

・このクラスを指定している CSS 用テンプレート名：CSS Content Elements

```
.text-align-right {
text-align: right;
}
.text-align-left {
text-align: left;
}
.text-align-center {
text-align: center;
}
.text-align-justify {
text-align: justify;
text-justify: distribute-all-lines;
}
```

＜例１＞

テキストを右寄せにしたい場合、HTML タグ用のクラスとして text-align-right を使用できます。

テキストを右寄せにします。

＜例２＞

テキストを左寄せにしたい場合、HTML タグ用のクラスとして text-align-left を使用できます。

テキストを左寄せにします。

＜例３＞

テキストを中央揃えにしたい場合、HTML タグ用のクラスとして text-align-center を使用できます。

テキストを中央揃えにします。

＜例４＞

テキストを均等割付にしたい場合、HTML タグ用のクラスとして text-align-justify を使用できます。

テキストを均等割付にします。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

（１１） 用意されている CSS スタイル済みの HTML タグ

ここでは、Comunica Templates のテンプレートで、既に CSS スタイル済みの HTML タグをご紹介します。記事を作成する際、これらの HTML タグを使用し、正しいマークアップを心掛けることで、SEO を高めることができます。

Comunica Templates のテンプレートでは、テンプレートの性質上、また、ご利用者の多様性により、ロゴは<h1>（見出しレベル 1）に、ブログ記事やウェブページのタイトルは<h2>（見出しレベル 2）に指定しています。

この為、論理的なマークアップを行うにあたり、ブログ記事やウェブページの中で使用する見出しタグは、<h3>（見出しレベル 3）からとなります。もちろん、ブログ記事/ウェブページの中に、ブログ記事/ウェブページのタイトルと同じレベルの見出しを置きたい場合は、<h2>タグを使うことができます。以下はタグのサンプルです。（ご参考用のみ。）

```
<h3>H3 見出しタイトル</h3>
<div>これは Div の文章です。</div>

これはパラグラフの無い文章。<br />

<h4>H4 見出しタイトル</h4>
<p>パラグラフの文章。</p>

<h5>H5 見出しタイトル</h5>
<p class="fontSmall">フォントサイズの小さなテキストです。</p>

<h6>H6 見出しタイトル</h6>
<p class="fontLarge">フォントサイズの大きなテキストです。</p>

<p><a href="index.html">リンクテキストです。</a></p>

<p>
        abbr の場合： <abbr title="Extensible Markup Language">XML</abbr><br />
        acronym の場合： <acronym title="Small Office Home Office">SOHO</acronym><br />
        キーボード入力の場合： <kbd>qwerty</kbd>
</p>
```


Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

```
<p>
	<em>em タグです。</em>
	<i>italic のサンプルテキスト。</i>
	<strong>strong タグです。</strong>
	<b>bold のサンプルテキスト。</b>
	sub のテキスト CO<sub>2</sub>。
	sup のテキスト CO<sup>2</sup>。
</p>

<p>出典先は、<cite>"出典先のテストで参照元。"</cite>です。</p>
<p><ins>追記です。これは追記。追記です。</ins>です。</p>
<p><del>これは削除です。</del>ここから普通のテキスト開始。</p>

<blockquote>引用文がここに来ます。</blockquote>

<ul>
	<li><a href="http://www.testxxx.com/test_.html">リンク</a>
		<ul>
			<li><p>リストの中のパラグラフ。</p>パラグラフ以外のリスト内のテキスト。</li>
			<li><div>リストの中の Div テキスト。</div>Div 以外のテキスト。</li>
			<li>リストの中のサンプルテキスト。</li>
		</ul>
	</li>
	<li>これはサンプルテキストです。
		<ol>
			<li>リストの中のサンプルテキスト。</li>
			<li>リストの中のサンプルテキスト。</li>
		</ol>
	</li>
	<li>これはサンプルテキストです。
		<dl>
			<dt>定義リストタイトル</dt>
			<dd>これは、定義デファニション。</dd>
			<dt>定義リストタイトル</dt>
			<dd>これは、定義デファニション。</dd>
		</dl>
	</li>
</ul>
```


Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

```
<ol>
	<li><p>リンク http://www.testxxx.com/test_.html</p></li>
	<li><div>リストの中の Div。</div></li>
	<li>これはサンプルテキストです。
		<ol>
			<li>これはサンプルテキストです。</li>
			<li>これはサンプルテキストです。</li>
		</ol>
	</li>
	<li>これはサンプルテキストです。
		<dl>
			<dt>定義リストタイトル</dt>
			<dd>これは、定義デファニション。</dd>
			<dt>定義リストタイトル</dt>
			<dd>これは、定義デファニション。</dd>
		</dl>
	</li>
</ol>
<form action="">
	<fieldset>
		<legend>個人情報</legend>
		<label for="">氏名：</label>
		<input type="text" id="" name="" />
		<label for="">住所：</label>
		<input type="text" id="" name="" />
	</fieldset>
	<fieldset>
		<legend>クレジットインフォ</legend>
		<div>
		<label accesskey=""><input type="radio" name="" value=""> Visa</label>
		<label accesskey=""><input type="radio" name="" value=""> MasterCard</label>
		</div >
		<div>
		<label accesskey="">Number: <input type=text name=""></label>
		<label accesskey="">Expiry: <input type=text name=""></label>
		</div>
	</fieldset>
</form>
```


Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

```
<form action="" method="">
	<div>お名前 <span class="red">*</span> ：<br />
		<input type="text" size="" name="" /></div>
	<div>メールアドレス <span class="red">*</span> ：<br />
		<input type="text" size="" name="" /></div>
	<div>件名：<br /><input type="text" size="" name="" /></div>
	<div>本文 <span class="red">*</span> ：<br />
		<textarea rows="" cols="" name=""></textarea></div>
	<div><input type="submit" name="" value="確認" />
		<input type="submit" name="" value="送信" /></div>
</form>

<form action="" method="">
	<dl>
		<dt>お名前 <span class="red">*</span> ：</dt>
		<dd><input type="text" size="" name="" /></dd>
		<dt>件名：</dt>
		<dd><input type="text" size="" name="" /></dd>
		<dt>本文 <span class="red">*</span> ：</dt>
		<dd><textarea rows="" cols="" name=""></textarea></dd>
	</dl>

	<div><input type="submit" name="" value="確認" />
		<input type="submit" name="" value="送信" /></div>
</form>

<form action="" method="">
	<table>
		<tr>
			<td>住所：<input type="text" name="" tabindex="" /></td>
			<td><a href="#" tabindex="">住所記入の注意</a></td>
		</tr>
		<tr>
			<td>氏名：<input type="text" name="" tabindex="" /></td>
			<td><a href="#" tabindex="">氏名記入の注意</a></td>
		</tr>
		<tr>
			<td>右から選択してください</td>
```


Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

```
                        <td>
                                <select name="">
                                        <option value="">ここの文字が表示される</option>
                                </select>
                        </td>
                </tr>
        </table>
</form>

<table summary="">
        <tr>
                <th width="50%">テーブル A</th>
                <th width="50%">テーブル B</th>
        </tr>
        <tr>
                <td>テーブル A のサンプルテキスト。</td>
                <td>テーブル A のサンプルテキスト。</td>
        </tr>
</table>

<table summary="" width="100%">
        <tr>
                <th style="width: 20%;" >カテゴリ 1</th>
                <td style="width: 80%;">テーブルテキストのテスト。</td>
        </tr>
        <tr>
                <th>カテゴリ 2</th>
                <td>テーブルテキストのテスト。</td>
        </tr>
        <tr>
                <th>カテゴリ 3</th>
                <td>テーブルテキストのテスト。</td>
        </tr>
</table>
```


Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.

```
<pre>
&lt;pre&gt;の場合
&lt;table&gt;
  &lt;tr&gt;
    &lt;th width="50%"&gt;テーブル A&lt;/th&gt;
    &lt;th width="50%"&gt;テーブル B&lt;/th&gt;
  &lt;/tr&gt;
  &lt;tr&gt;
    &lt;td&gt;テーブル A のサンプルテキスト。&lt;/td&gt;
    &lt;td&gt;テーブル A のサンプルテキスト。&lt;/td&gt;
  &lt;/tr&gt;
&lt;/table&gt;
</pre>

<pre><code>
&lt;pre&gt;&lt;code&gt;の場合
&lt;table&gt;
  &lt;tr&gt;
    &lt;th width="50%"&gt;テーブル A&lt;/th&gt;
    &lt;th width="50%"&gt;テーブル B&lt;/th&gt;
  &lt;/tr&gt;
  &lt;tr&gt;
    &lt;td&gt;テーブル A のサンプルテキスト。&lt;/td&gt;
    &lt;td&gt;テーブル A のサンプルテキスト。&lt;/td&gt;
  &lt;/tr&gt;
&lt;/table&gt;
</code></pre>
```

これで、「サイトの構築方法」は終了です。
お疲れ様でした。

Copyright © Comunica Templates All Rights Reserved.